

平成 2 9 年度

小金井市教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

(評価対象：平成 2 8 年度事業)

小金井市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条において、教育委員会自らが、毎年、教育委員会における活動状況の点検及び評価を実施することが義務付けられています。

また、点検及び評価に当たっては、有識者からの意見聴取、報告書の作成、議会への提出、公表を行うこととされています。

小金井市教育委員会は、教育目標及び基本方針の実現に向け、「第2次明日の小金井教育プラン」と「第3次小金井市生涯学習推進計画」に基づいて推進する「教育施策」に係る主な事業（69事業）について「点検及び評価シート」を作成し、有識者からいただいた貴重なご意見を踏まえ、本年度の評価報告書を作成しました。

小金井市教育委員会

目 次

小金井市教育委員会の教育目標	1
小金井市教育委員会の基本方針	2
平成28年度教育施策	3
教育目標・基本方針・各計画・教育施策の関係	9
平成29年度 点検及び評価対象事業	10
平成29年度 評価基準	11
点検及び評価表（学校教育）	12
1 概要	12
2 評価結果総括	12
3 評価表	13
点検及び評価表（生涯学習）	35
1 概要	35
2 評価結果総括	35
3 評価表	36
平成29年度 点検・評価に関する有識者の意見	49
参考資料	
1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律	
2 小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況について の点検及び評価の実施に関する要綱	
3 平成28年度教育委員会運営状況	
4 平成28年度小金井市立小・中学校 学校行事・連合行事等日程表	

小金井市教育委員会の教育目標

小金井市教育委員会は、子供たちが幅広い知識と教養を身に付けるとともに、道徳心にあふれ、健康で人間性豊かに成長することを願い

- 自他の生命と人格を尊重し、礼儀正しく思いやりのある人
- 社会のルールを身に付け、社会貢献に努める人
- 自ら学び考え続ける、個性と創造力豊かな人

の育成に向けた教育を推進する。

また、すべての市民が生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合い、互いに高め合うことを目指していく。

そして、家庭、学校及び地域のそれぞれが役割と責任を果たしながら、相互の連携と協力による教育を推進する。

(平成20年1月24日 小金井市教育委員会決定)

小金井市教育委員会の基本方針

【基本方針1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成】

すべての子供たちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められる。

そのために、人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

【基本方針2 「個性」と「創造力」の伸長】

国際社会に生き社会の変化に対応できるよう、子供たち一人一人の豊かな人間性を育成することが求められる。

そのために、子供たちの個性と創造力を伸ばす教育を重視するとともに、国際社会に生きる日本人を育成する教育を推進する。

【基本方針3 「信頼される学校づくり」と「確かな学力」の確立】

子供たちに、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、思考力・判断力・表現力等を育成することが求められる。

そのために、教員の授業力向上を図るとともに、保護者や地域に信頼される魅力ある学校づくりを目指した学校経営を支援する。

【基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興】

市民一人一人が生涯にわたって学び、その成果を社会に還元できるようになるとともに、次代を担う子供たちの健やかな成長を社会全体で支えることが求められる。

そのために、学校・家庭・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、市民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加できる機会の充実を図る。

(平成24年2月14日 小金井市教育委員会決定)

平成28年度教育施策

小金井市教育委員会は、「教育目標」及び「基本方針」を実現するための「第2次明日の小金井教育プラン」・「第3次小金井市生涯学習推進計画」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

1 小金井らしさの醸成

(1) 特色ある教育

- ① 校長のリーダーシップのもとに、学校の自主性と自律性を確立し、学校、家庭、地域と連携・協力した特色ある教育活動を推進することで各校の教育力の向上を図る。
- ② 全教育活動を通じて、自他の生命を尊重する態度を育てる心の教育の充実を図る。
- ③ 豊かな感性を磨き、健全な心を育むために、連合音楽会や連合作品展等を開催し、情操教育を推進する。
- ④ 学校等における安全管理を徹底し、日常的に災害発生時の避難経路や緊急時の対応の確認等の安全点検を実施する。また、防災教育の充実を図り、児童・生徒、教職員等の防災意識を高め、緊急時における安全への対応力を向上させる。
- ⑤ 安全教育プログラム（東京都教育委員会）を活用し、毎月の安全指導日やセーフティ教室の取組を充実させ、児童・生徒の危機回避能力を高め、犯罪被害の未然防止を図る教育を充実させる。
- ⑥ 保護者や地域住民との一層の連携を図り、登下校時の見守りや、スクールガードの取組を推進し、通学路や学区域内での児童・生徒の安全確保に努める。
- ⑦ 就学前から学校教育へ円滑な接続を行うために、幼稚園や保育所と小学校が相互にそれぞれの特性等について正しく理解し合い、連携を強化していく。
- ⑧ 教職員に自己の職責の重大さを自覚させ、職責遂行のため服務の厳正を図る。

(2) 人権教育

- ① 教育活動全体を通じて、人権尊重の理念の定着を図るために人権教育を一層推進し、偏見と差別のない望ましい人間関係を確立する。
- ② 女性、子供、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、その他の人権問題等の様々な人権課題にかかわる差別意識の解消を図るための教育を推進する。
- ③ いじめは、人間として絶対に許されない人権侵害である。「いじめのないまち小金井宣言」の実現に向け、小金井市いじめ防止基本方針及び学校いじめ防止基本方針に基づき、学校と家庭、地域社会が連携し「いじめを絶対に許さない」ことを児童・生徒の心に浸透させる。
- ④ 小金井市子どもの権利に関する条例のリーフレット、人権教育プログラム（東京都教育委員会）等を活用し、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、鋭い人権感覚を身に付けた自立した個人を育てる教育を推進する。
- ⑤ 小金井市男女平等基本条例の男女両性の本質的平等の理念に基づ

き、男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重されることを児童・生徒に理解させ、その具現化を図る適正な男女平等教育を推進する。

(3) 社会貢献活動

- ① 社会の一員としての自覚を高め、規範意識等を育むために、教育計画に基づき、教職員の適切な指導のもと、社会体験活動やボランティア活動等の充実に努める。
- ② 児童・生徒一人一人が人間と環境とのかかわりについて理解を深め、環境を大切に作る心と、環境問題や環境保全に主体的にかかわることができる能力や態度を光熱水費削減還元プログラムも活用しながら育成する。

(4) 伝統・文化理解教育

- ① 国際社会の中で活躍し、わが国の発展に貢献できる人材を育成するために、小・中学校に外国人英語指導助手を派遣する等、コミュニケーション能力を育む教育を推進する。
- ② 日本や世界の伝統・文化に触れる異文化教育や小金井市に由来する人物、風土、環境等を学ぶふるさと教育を通じて、多様な文化や郷土に対する理解を深めるとともに、国際的視野を広める教育を推進する。

(5) 体験活動

- ① キャリア教育の視点に立ち、職場体験学習や農業体験学習、その他の勤労体験学習を拡充し、望ましい勤労観・職業観を育むとともに、子供たちの生き方指導や進路に関する指導の充実に努める。
- ② 自然体験学習や宿泊体験活動等の幅広い体験活動を通じて子供たちの社会性や豊かな人間性を育む。また、三宅島等の子供たちとの交流を通して島嶼の特性を理解し、豊かな人間性を育てる。

(6) 福祉教育

障害のある方との交流活動や福祉体験活動等に取り組み、自他を尊重する心や障害についての理解教育の充実に努める。

(7) 家庭教育

家庭学習のすすめや保護者向け資料「ハートコンタクト」を作成し、家庭での学習習慣の確立やそのための方法等についての啓発を図る。

2 知育・徳育・体育の推進

(1) わかる・できる・活かす授業

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用する問題解決型の学習を取り入れることで思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また、個に応じた指導及び体験活動を一層充実させ主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。
- ② 教員の教科等の専門性や実践的指導力、幅広い識見を高め、授業力を一層向上させるために全教員が外部講師等を招いた研究授業に取り組む。また教職経験や職層に応じた研究・研修の充実に努める。
- ③ 学生ボランティアや地域の教育資源等を活用し、授業の指導補助、放課後や夏季休業日等の補充学習を実施する等、確かな学力の定着を図る。
- ④ 「わかる・できる・活かす」授業を展開するために、年間指導計画の充実、授業改善推進プランの作成・活用、児童・生徒による授業評価の実施、校内研修等を推進するとともに、授業公開の充実に努める。

- ⑤ 「わかる・できる・活かす」授業改善研究指定校を定め、授業力向上に関する先進的な研究を行い、その成果を市全体に広める。
 - ⑥ 学習指導要領に基づいた年間指導計画の適正な作成と実施及び評価の充実を図る。
- (2) 読書活動と学校図書館
- ① 読書活動推進月間を設定し、児童・生徒の読書活動を推進するとともに、「小金井市読書感想文コンクール」を通して、子供たちの読書活動の表彰を行う。
 - ② 「小金井市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館補助員を派遣するとともに、目的をもった読書活動を推進し、読書習慣を身に付けさせ、自ら進んで学習する意欲と態度を養う。
- (3) 情報教育
- ① 家庭・地域との連携の下、ICT機器の正しい使い方やインターネットやメール等の利用に関するモラルやマナーを身に付けるための情報モラル教育の充実を図る。
 - ② 情報教育アドバイザーの派遣や情報教育推進委員会等の研修を通して情報教育及び教科指導におけるICTの活用を推進する。
- (4) 理科教育
- ① 地域の大学や研究機関等との連携を図り、教員の理科教育に関する専門性の向上を図る。
 - ② 小学校理科支援員の派遣等を通じて、児童・生徒が目的意識を持って観察・実験に関わり、主体的に学ぶ理科教育を推進する。
- (5) 道徳教育
- ① 児童・生徒が、自他をいつくしみ、かけがえのない生命や自然を大切に作る等、思いやりの心を育み、人間性豊かに成長できるよう心の教育の充実を図る。
 - ② 児童・生徒一人一人が、道徳心や公共心を育み、礼儀正しく生活できる力を育成するために、道徳の時間を要としながら全教育活動において道徳教育を充実させる。
 - ③ 家庭や地域と連携した道徳教育の推進や道徳授業地区公開講座の充実を図り、社会の一員としての自覚を高め、規範意識を育む教育を推進するとともに、郷土小金井を愛し共に生きる子供を育成する。
- (6) 体力の向上
- ① 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、その歴史や意義を学んだり、我が国と世界の国々の歴史や文化、習慣等を学んだりすることで、進んで平和な社会の実現に貢献しようとする健やかな児童・生徒を育成する。また、積極的に運動やスポーツに親しむために一校一取組運動を推進し、体力の向上に努める。
 - ② 体力向上推進委員会による児童・生徒の体力調査の実施、分析をもとに体育的活動の改善に努め、体力のさらなる向上を図る。
 - ③ 健全な食生活に向けた食育を推進し、生命の大切さや心身の健康、食物の品質や安全性についての正しい認識をもつことができるように指導の充実を図る。
 - ④ 関係機関と連携した保健教育を推進し、健康で安全な生活を送る能力や態度の育成を図る。
- (7) 特別支援教育
- ① 障害のある児童・生徒の教育的なニーズに応じた多様な学びの推進

- に向け、巡回相談、専門相談、校内委員会を充実させる。
- ② 障害のある児童・生徒の教育的なニーズに応じた指導、支援の充実に向け特別支援教室の設置や効果的な活用、合理的配慮の提供等についての研究を推進する。
 - ③ 特別支援教育にかかわる教員の資質、能力を高めるために、特別支援学級設置校長会、特別支援学級推進委員会、特別支援教育研修会を充実させる。
 - ④ 特別支援教育支援員を配置し、学校における学習支援や日常生活上の介助等を含め、特別な支援が必要な児童・生徒の支援を一層充実させる。
 - ⑤ 障害のある人との相互理解を深め、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶための交流教育の充実や副籍制度に基づいた交流及び共同学習の推進に努める。
 - ⑥ 特別な支援を必要とする子供のライフステージに応じた効果的な支援を実現するために、特別支援教育研修会や市民等を対象とした講演会の開催、関係する福祉担当部局と連携することで、支援体制の充実を図る。

3 教育環境の整備

(1) 新しい学校評価

- ① 小金井市公立学校運営連絡会による保護者や地域住民の参画や積極的な授業公開の実施等、開かれた学校づくりを一層推進する。
- ② 学校評価に基づき、学校の教育活動を積極的に保護者や地域住民に説明し、効率的で透明性の高い学校運営を推進する。
- ③ 市教委訪問、指導室訪問、都教委訪問等のきめ細やかな学校訪問を通じて、学校教育活動の充実を図る。
- ④ 全校で地域や大学等との連携を深め、地域・外部の人材等を活用した学校支援体制の整備の充実を図る。

(2) 情報環境

- ① ICTを活用した授業をサポートする情報教育アドバイザーを配置し、授業サポートや情報機器のメンテナンスを行える体制を整える。
- ② コンピュータの保守、点検、整備、コンピュータ操作活用に係る助言・相談を行うコンピュータ管理業務者を学校の必要に応じて派遣する。
- ③ 校務用パソコンをもとに業務の効率化を図り、校務を軽減する。

(3) 教育相談・適応指導

- ① いじめや不登校、暴力行為等、児童・生徒が抱える多様な課題の解決に向け、早期発見・早期対応ができる学校の組織体制の構築、強化を推進する。
- ② 児童・生徒が抱える多様な課題等の対応に当たっては、状況に応じて関係機関等との連携を図りながら、組織的な対応の充実に取り組む。
- ③ 不登校等の課題に対応するため、スクールカウンセラーを学校の生活指導や教育相談組織の中で活用することで、学校の教育相談機能を充実させる。また、教育相談所、もくせい教室及び他の相談機関との連携を深め、児童・生徒、保護者等に対する相談体制の充実を図る。
- ④ スクールソーシャルワーカーを派遣し、児童・生徒が置かれた様々

な環境への働きかけや関係機関とのネットワークを活用することで、児童虐待や家庭の状況等に起因する問題行動等の未然防止、早期発見及び改善を図る。

(4) 学校施設

- ① 学校教育の質的向上を図るため、施設・設備及び教育機器等の教材・教具、図書等を充実させるとともに有効活用に努める。
- ② ゆとりと潤いのある教育環境づくりのため、校庭等の緑化等に努める。
- ③ 安全・安心な教育環境整備づくりに努めるとともに、地域の防災拠点の機能を併せもつ学校施設としての充実を図る。

4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(1) 生涯学習の推進

- ① 市民一人一人が生涯にわたって自ら学び、文化・スポーツに親しみ、その成果を地域社会の活動に反映できるよう第3次小金井市生涯学習推進計画に沿って施策の推進に努める。
- ② 学校、家庭、地域がその役割と責任を自覚し、相互に連携協力して地域全体で教育力を高める活動を推進する。
- ③ 地域の貴重な資源である大学、文化施設、NPO等市民団体と連携して生涯学習施策を推進する。
- ④ 退職前後の中高年層を対象として、学習の機会や情報を提供し、地域活動への参加を推進する。
- ⑤ 市民の学習活動に資するため、市報やホームページ等を活用し、積極的に情報提供に努める。

(2) 青少年教育の推進

- ① 家庭教育の充実を図るため、家庭教育に関する学習の機会や情報提供の充実を図る。
- ② 子供たちの安全安心な居場所づくりとして、学校、家庭、地域と一体となって実施している「放課後子ども教室」事業の充実を図る。
- ③ 清里山荘指定管理者と連携し、青少年が豊かな人間関係や社会性を育んでいくことができるよう、自然体験教室、ふれあい体験教室等多くの体験活動の機会を提供するとともに、自然や科学に対する関心を深め、創造性豊かな青少年の育成に努める。

(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進

- ① 幼児期から高齢者までの市民が、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の場を提供し、健康・体力づくりを推進する。(仮称)小金井市スポーツ推進計画を、スポーツ関係団体と協働して策定する。
- ② 楽しむスポーツから競技スポーツまで、幅広いスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ団体の活動を支援する。
- ③ 誰でも、いつでも気軽にスポーツすることができる環境づくりとして総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。
- ④ スポーツ・レクリエーションの普及のため、スポーツ団体と連携して、指導者の育成・派遣等の指導体制の充実を図る。

(4) 文化財の保存と啓発活動の推進

- ① 貴重な文化遺産を後世に継承していくため、埋蔵文化財の調査・保存・市指定文化財の保存及び郷土芸能の伝承を支援していくとともに、文化財センターの機能の充実を図る。

- ② 市民の郷土に対する理解を深め、市勢発展に資するため、「小金井市史」資料編・通史編を「小金井市史編さん年次計画」に基づき、順次刊行する。
 - ③ 市民が生涯を通じて、地域の歴史や文化財に親しむことができるよう、文化財等の解説や学習団体の支援の充実を図る。
 - ④ 史跡玉川上水、名勝小金井（サクラ）の整備活用を通して、東京都及び市民団体と協働してヤマザクラ並木の歴史的景観を復活させる等、協働のまちづくりを推進する。
- (5) 公民館の充実
- ① 誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう身近な公民館運営に努める。
 - ② 公民館運営に公民館運営審議会委員、企画実行委員の他、市民参加を図り、関連諸機関や市民団体とも協働して充実を図る。
 - ③ 事業の実施には、地域社会との連携に努め、団体・サークルやNPO法人等の諸機関・諸団体とも協力して充実を図る。
 - ④ 主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。
 - ⑤ 市民の学習活動に機材・教材を提供し、活動の場の環境整備に努める。
 - ⑥ 広報活動に市民も参加し、情報の提供に努める。
 - ⑦ これまでの公民館が果たしてきた役割を踏まえ、時代にふさわしい公民館の在り方について市民を交えて検討する。
- (6) 図書館の充実
- ① 「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」、「なんでも」利用できる図書館運営に努める。
 - ② 「小金井市立図書館運営方針（改訂版）」に基づき、図書館施策を推進して行く。
 - ③ 子供の読書活動推進のため、「第3次小金井市子ども読書活動推進計画」に沿って施策の推進に努める。
 - ④ 図書館の利便性向上のため、市民用インターネット端末の設置、電子図書の導入、様々なデータベースの提供、資料用I C タグの導入などのI C T化推進について検討を進める。
 - ⑤ 将来の生涯学習の充実と発展を図るため、市民ニーズに沿った中央図書館の整備も含め、図書館の在り方について市民を交えて検討する。
- (7) 社会教育施設の整備
- ① 市民の学習・文化活動及び集会の場として、施設の整備充実を図る。
 - ② 市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として、施設の整備充実を図る。
 - ③ 公民館、図書館、体育館、学校など既存施設の有効活用を積極的に推進する。
 - ④ 震災の経験を踏まえた施設のあり方を検討する。

教育目標・基本方針・各計画・教育施策の関係

○理念的な原理・原則

小金井市教育委員会の
教育目標・基本方針

○中期的な計画

「第2次明日の小金井教育プラン」(学校教育)
「第3次小金井市生涯学習推進計画」(生涯学習)

○当該年度の短期的な計画
(毎年度策定)

教育施策・主要事業

小金井市教育委員会が目指す教育の実現

小金井市教育委員会は、「教育目標」及び「基本方針」の実現に向け「第2次明日の小金井教育プラン」と「第3次小金井市生涯学習推進計画」を策定しています。

これらの中期的な計画に基づき、当該年度に実施する「教育施策」及び「主要事業」を明確化することができますようにします。

これらの「教育施策」及び「主要事業」等を推進していくことで、小金井市教育委員会が目指す教育を実現していきます。

平成29年度 点検及び評価対象事業 (平成28年度実施事業)

【学校教育】		施策	点検及び評価対象項目名	担当	
小金井市教育委員会 小金井市教育委員会の教育目標 (平成20年1月24日 小金井市教育委員会決定)	第2次明日の 小金井教育プラン (H28/H32) 基本方針1・2・3 小金井市教育委員会決定	1 知育・徳育・体育の推進 基本視点 小金井らしさの醸成	1 学力の向上	(1) 教員の授業力向上	1 全教員による講師を招いた授業研究の実施 指導室
			2 心の教育	(2) 学校における個別学習支援の充実	2 学校における校内研究等の実施 指導室
			2 教育環境の整備	(3) 家庭学習の充実	3 授業力向上に関する教員研修の実施 指導室
					4 東京学芸大学との連携事業による学習支援の実施 指導室
					5 地域及び学生ボランティア等の人数拡大 指導室
					6 放課後及び夏季休業日等における補充的な学習の実施 指導室
					7 個別指導による授業の振り返りの実施 指導室
					8 宿題や予習・復習などの学習課題についての検討・実施 指導室
			3 健康教育	(4) 情報教育の充実・教育の情報化	9 保護者を対象にした講演会の実施 指導室
					10 家庭学習のしよりの検討・作成・配布 指導室
					11 情報リテラシー及び情報モラル教育の実施 指導室
					12 情報教育推進委員会等による教員研修の実施 指導室
		13 ICTを活用した授業改善の実施 指導室			
		14 学校の全教育活動を通じた計画的な人権教育の実施 指導室			
		4 福祉教育	(5) 人権教育の充実	15 「小金井市子どもの権利に関する条例」の周知 指導室	
				16 人権教育に係る教職員研修の実施 指導室	
				17 児童会、生徒会等による主体的活動の実施 指導室	
				18 学校における体験活動の実施 指導室	
				19 学区・保護者・地域が連携した道徳教育の実施 指導室	
				20 いじめ、不登校等に対する組織的な教育相談の実施 指導室	
		5 特別支援教育	(6) 豊かな心の育成	21 専門機関と連携した教育相談の実施 指導室	
				22 教育相談等に係る教員研修の実施 指導室	
				23 地域・ボランティア活動の啓発 指導室	
				24 意図的、計画的なキャリア教育の実施 指導室	
25 郷土に対する理解や郷土愛に関する学びの実施 指導室					
26 教員及び児童・生徒の地域行事への参加 指導室					
6 地域連携	(7) 教育相談の充実	27 食育リーダー会議の開催 学務課			
		28 食に関するリーフレットの作成・配布・改定 学務課			
		29 特色ある献立の定期的な提供 学務課			
		30 オリピック・パラリンピックに関連した体験や活動等を重視した教育の実施 指導室			
		31 基礎体力や運動技能を高める体育授業の実施 指導室			
		32 福祉体験活動の実施 指導室			
7 ICT環境の整備	(8) 社会貢献精神の育成	33 障害のある方との交流活動の実施 指導室			
		34 職層・職種別の教員研修の実施 指導室			
		35 特別な教育ニーズがある児童・生徒に対する人的支援の実施 指導室			
		36 特別支援教室等を活用した学習の実施 指導室			
		37 近隣大学、研究所及び高度教育機関等との連携事業の実施 指導室			
		38 学校と地域の連携事業の実施 指導室			
8 学校施設	(9) ふるさと教育の推進	39 教育用ICT機器の整備 学務課			
		40 校務用ICT機器の整備 学務課			
		41 計画的・長期的な方針に基づく、長寿命化を含めた学校施設整備計画の策定 庶務課			
		42 非構造部材整備事業 庶務課			
		43 トイレ整備事業 庶務課			
		44 サークル案内 生涯学習課			

【生涯学習】		施策	点検及び評価対象項目名	担当		
小金井市教育委員会 小金井市教育委員会の教育目標 (平成20年1月24日 小金井市教育委員会決定)	第3次小金井市生涯学習推進計画 (H28/H32) 基本方針4 学びの継承 未来の創造 ↳学びでつながる人・まち・小金井	1 学びを豊かにする環境づくり	(1) 学びに関する情報提供と相談体制の充実	44 サークル案内 生涯学習課		
			(2) 自主的な学習活動への支援	45 まなびあい出前講座 生涯学習課		
			2 学びを通じた人づくり	(3) 施設の充実と有効活用の推進	46 公民館維持管理事業 公民館	
					47 図書館維持管理業務 図書館	
					48 総合体育館維持管理事業 生涯学習課	
					49 文化財センター維持管理事業 生涯学習課	
		50 放課後子ども教室 生涯学習課				
		51 図書館児童サービス事業 図書館				
		3 学びを活かしたまちづくり	(4) 子どもの居場所づくり	52 青少年のための科学の祭典 生涯学習課		
				53 家庭教育学級 生涯学習課		
				54 少年自然の家維持管理事業 生涯学習課		
				55 シニア世代のための地域参加講座 生涯学習課		
				4 学び合いのネットワークづくり	(5) 世代に応じた学習機会の充実	56 貸出サービス事業 図書館
						57 ITサポート事業「こがねいパソコン相談室」 公民館
		58 市民が作る自主講座 公民館				
		59 障がい者サービス事業 図書館				
		60 青年国際交流講座「生活日本語教室」 公民館				
		61 市史編さん活動 生涯学習課				
		5 学びを豊かにする環境づくり	(6) 多様な学習機会の提供	62 古文書講座 生涯学習課		
				63 体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助事業 生涯学習課		
				64 スポーツ開放・学校開放事業 生涯学習課		
				65 市民体育祭 生涯学習課		
				66 名勝小金井(サクラ)復活プロジェクト 生涯学習課		
				67 ボランティアセミナー 生涯学習課		
6 学びを豊かにする環境づくり	(7) 歴史に親しむ機会の提供	68 スポーツ推進委員事業 生涯学習課				
		69 広域連携 図書館				
		7 学びを豊かにする環境づくり	(8) 地域人材・リーダーの育成と活用の促進	69 広域連携 図書館		
				70 市民体育祭 生涯学習課		
				71 市民が作る自主講座 公民館		
				72 障がい者サービス事業 図書館		
73 青年国際交流講座「生活日本語教室」 公民館						
74 市史編さん活動 生涯学習課						

平成 29 年度 評価基準

S	達成し、予想以上の効果を上げている	施策に沿って事業を進め、当該年度目標及び事業目標を達成し、予想以上に効果的な結果が得られ、優れた取り組みとなっている。
A	達成している	施策に沿って事業を進め、当該年度目標を達成し、順調に事業目標に向かっている。又は、事業目標を達成している。
B	概ね達成している	施策に沿って事業を進め、当該年度目標を概ね達成したが、事業目標の達成に向けて、改善する余地がある。
C	達成見込みはあるが、一部課題がある	施策に沿って事業を進めてはいるが、当該年度目標を達成したとはいえ、事業目標の達成見込みがあるものの、改善する必要がある。
D	達成に向けて困難な課題がある又は着手していない	施策に沿って事業を進めてはいるが、当該年度目標を達成することのできない大きな課題がある。又は、事業自体に着手することができていない。

点検及び評価表（学校教育）

1 概要

学校教育では、小金井市教育委員会の基本方針及び第2次明日の小金井教育プラン（平成28年度から平成32年度まで）に基づいた平成28年度教育施策を推進するための様々な事業を展開し、点検及び評価に当たっては、第2次明日の小金井教育プランの重点施策である43事業を評価対象とした。

平成28年度については、全43事業中32事業をA評価「達成している」、6事業をB評価「概ね達成している」と評価し、A評価とB評価を合わせると事業全体の88.4%となり、学校教育における事業が大きな問題なく推進できているものと評価する。

一方、年度目標を達成したとはいえない項目として、「24 意図的、計画的なキャリア教育の実施」、「26 教員及び児童・生徒の地域行事への参加」、「39 教育用ICT機器の整備」の3事業をC評価、「9 保護者を対象とした講演会の実施」、「42 非構造部材整備事業」の2事業をD評価とし、これらの事業は改善する必要があると評価した。

なお、S評価「予想以上の効果を上げている。」が無いのは、平成28年度が「第2次明日の小金井教育プラン」の初年度に当たるため、各事業とも予想以上に効果的な結果が得られた取り組みにまで充実していないものと考えられる。

2 評価結果総括

	事業数	S	A	B	C	D
(1) 教員の授業力向上	3		3			
(2) 学校における個別学習支援の充実	4		2	2		
(3) 家庭学習の充実	3		1	1		1
(4) 情報教育の充実・教育の情報化	3		3			
(5) 人権教育の充実	3		3			
(6) 豊かな心の育成	3		3			
(7) 教育相談の充実	3		3			
(8) 社会貢献精神の育成	2			1	1	
(9) ふるさと教育の推進	2		1		1	
(10) 食育の推進	3		3			
(11) 児童・生徒の体力向上	2		2			
(12) 心のバリアフリー事業の推進	2		2			
(13) 特別支援教育の充実	3		3			
(14) 学校地域連携の推進	2		1	1		
(15) ICT機器の整備	2			1	1	
(16) 学校施設整備の推進	3		2			1
合 計	43	0	32	6	3	2
内 訳 (%)		0.0%	74.4%	14.0%	7.0%	4.7%

3 評価表

1 全教員による講師を招いた授業研究の実施							
施策名	1 学力の向上 (1) 教員の授業力向上					担当	指導室
事業内容 (事業目標)	児童・生徒の学力向上には、教員の授業力向上が欠かせない。そのために、全教員が年に1回外部講師を招いた授業研究を実施して、授業改善に取り組む。						
H28年度 目標	全教員による外部講師を招いた授業研究を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	新規事業実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	全教員が外部講師を招いた授業研究を実施し、指導技術を向上させた学校 14 / 14校 (100%)						
評価 (Check)	/	A	/	/	/	/	/
進捗状況と 今後の展開 (Action)	各学校の全教員が、自己の課題解決を目指して、外部講師等を活用した授業研究を実施し、授業改善に資する。						

2 学校における校内研究等の実施							
施策名	1 学力の向上 (1) 教員の授業力向上					担当	指導室
事業内容 (事業目標)	教員の資質向上には、勤務校における研修が最も効果的である。その柱が校内研究である。各校が充実した校内研究を実施し、教員の資質向上を図る。						
H28年度 目標	各校において、テーマを設定し、校内研究等を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	特色ある校内研究の 実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	校内研究に取り組んだ学校 14 / 14校 (100%) 市内・外に向けた研究発表 小学校1校 11月11日、中学校1校 10月27日						
評価 (Check)	/	A	/	/	/	/	/
進捗状況と 今後の展開 (Action)	校内研究は、教員にとって重要な研究である。各校の創意ある校内研究を推進する。						

3 授業力向上に関する教員研修の実施

施策名	1 学力の向上 (1) 教員の授業力向上	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	児童・生徒に確かな学力を育むため、教員の授業力向上が欠かせない。そのために、授業力向上に関する教員研修を実施する。						
H28年度 目標	各校の課題に応じて、授業力向上に関する教員研修を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	教員研修を実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った学校 14 / 14校 (100%)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	各校での取組みを推進するとともに、研修の成果普及を図る。						

4 東京学芸大学との連携事業による学習支援の実施

施策名	1 学力の向上 (2) 学校における個別学習支援の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	学力の定着には、個別指導や繰り返し指導、習熟の程度に応じた指導が必要である。東京学芸大学との協働研究を通して、個別学習支援の充実を図る。						
H28年度 目標	東京学芸大学との連携事業を通して、個別学習支援を行う。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	東京学芸大学と協定締結	実施	継続	継続	継続		
H28年度 事業成果 (Do)	東京学芸大学との連携事業による学習支援の実施した学校 小学校1校、中学校1校 補充・補習授業、教員研修等を実施して成果を出した。						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	本事業は平成31年度までの事業である。連携校、拠点校方式で新たに今後3年間進めていく。						

5 地域及び学生ボランティア等の人数拡大

施策名	1 学力の向上 (2) 学校における個別学習支援の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	地域や学生等の学校ボランティアが大きな力となっている。開かれた学校づくりを推進していく中で、ボランティアの拡充を進めていく必要がある。						
H28年度 目標	全教育活動において、ボランティアを導入する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	ボランティア活動を実施する。	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	各教科、総合的な学習の時間等に、地域、学生等のボランティアを導入した学校 11 / 14校 (79%) (内訳 小学校 7 / 9校、中学校 4 / 5校)						
評価 (Check)		B					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	学校を開くことで、一層のボランティアの導入を図る。						

6 放課後及び夏季休業日等における補充的な学習の実施

施策名	1 学力の向上 (2) 学校における個別学習支援の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	児童・生徒に基礎的、基本的な学習の確実な定着を図るため、放課後及び夏季休業日等における補充的な学習を実施する。						
H28年度 目標	全校が放課後及び夏季休業日等において、補充的な学習を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	補充的な学習の実施	実施	継続	継続	継続	継続	補充的な学習の実施
H28年度 事業成果 (Do)	放課後における補充的な学習を行った学校 11 / 14校 (79%) 夏季休業日における補充的な学習を行った学校 13 / 14校 (93%)						
評価 (Check)		B					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	授業の習熟の差を解消するための、補充学習は価値あることである。したがって、今後も各学校の実情に合わせて、実施していく。						

7 個別指導による授業の振り返りの実施

施策名	1 学力の向上 (2) 学校における個別学習支援の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	一斉授業の中で、いかに個に応じた指導をしていくかが大切なことである。そこで、個別指導による授業の振り返りを実施する。						
H28年度 目標	個別指導により、児童・生徒の授業の振り返りを行わせる。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	授業の振り返りを行う。	検討	実施	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた学校 14 / 14校 (100%)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	確かな学力の定着には、児童・生徒に対する決め細やかな指導が必要である。今後も教員の指導技術を上げ、個別指導の充実を図っていく。						

8 宿題や予習・復習などの学習課題についての検討・実施

施策名	1 学力の向上 (3) 家庭学習の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	児童・生徒の学習に対する興味関心を高めたり、学習習慣を身に付けたりするなど、家庭学習の充実を図る。						
H28年度 目標	学校の授業と家庭学習とは車の両輪である。その家庭学習の質を高める取組みを行う。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	家庭学習を行う。	検討	実施	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた学校 14 / 14校 (100%)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	児童・生徒の実態を鑑み、学習課題の検討を重ね、効果的に活用していく。						

9 保護者を対象にした講演会の実施

施策名	1 学力の向上 (3) 家庭学習の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	家庭学習は重要な役割を持っている。家庭学習が円滑に進むように、保護者への啓発事業として、保護者を対象とした講演会を実施する。						
H28年度 目標	保護者を対象にした講演会を企画、立案する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	検討	検討	実施	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	講演会の検討まで至らなかった。						
評価 (Check)		D					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	次年度早い段階から検討する。						

10 家庭学習のしおりの検討・作成・配布

施策名	1 学力の向上 (3) 家庭学習の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	家庭学習の充実のために、保護者への支援事業として、家庭学習のしおりの検討、作成、配布を行う。						
H28年度 目標	家庭学習のしおりの検討、作成、配布を行う。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	検討	検討	実施	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	家庭学習の目安や計画表など、各校で実施している家庭学習を啓発する取組の実態を把握した。また、スケジュール帳を使い、1年間を通した生徒の取組についての成果・課題について学校から聞き取った。						
評価 (Check)		B					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	児童・生徒の主体性を引き出す継続的な取組を低コストで実現するための方法について引き続き検討する。						

11 情報リテラシー及び情報モラル教育の実施

施策名	1 学力の向上 (4) 情報教育の充実・教育の情報化	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	情報化社会の急速な進歩に伴い、児童・生徒を取り巻く環境も大きく変化している。数多い情報の中から適切な情報を選択する能力を養うため、情報リテラシー及び情報モラル教育を充実する。						
H28年度 目標	各教科等の指導を通じて、情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにする。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	検討	検討	実施	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	SNS学校ルールを作成し、情報モラル教育の実践的に取り組んだ学校 14 / 14校 (100%) 中学校生徒会を中心にした取組を実践した学校 5 / 5校 (100%)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	学習指導要領に則した教育活動の適切な実施及びSNS東京ルール等の東京都独自の取組に加え、小金井独自の中学校生徒会の取組を行った。今後は、次期学習指導要領の適切な実施及び情報技術の発展に伴う内容の充実・発展を行う。						

12 情報教育推進委員会等による教員研修の実施

施策名	1 学力の向上 (4) 情報教育の充実・教育の情報化	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	情報化社会の急速な進歩に伴い、児童・生徒を取り巻く環境も大きく変化している。教員が授業でコンピュータ等を円滑かつ効果的に活用する力を身に付けるとともに、情報教育の実践的指導力を身に付ける。						
H28年度 目標	授業におけるタブレット型情報端末の効果的な活用とプログラミング教育の指導方法を身に付ける。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	検討	検討	実施	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	東京都ICT教育環境整備支援事業指定校(3校)の研究発表会の実施 6月6日、6月24日、7月6日 プログラミング教育夏季研修会の実施 8月30日						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	学習指導要領における教育の情報化の推進及びプログラミング教育の研究的な取組を実践した。今後は教員の実践的な指導力を高める研修を継続的・発展的に行う。						

13 ICTを活用した授業改善の実施

施策名	1 学力の向上 (4) 情報教育の充実・教育の情報化	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	情報化社会の急速な進歩に伴い、児童・生徒を取り巻く環境も大きく変化している。情報化社会に適応する能力を培うことを視野に入れた、ICT（情報通信技術）機器を活用した授業を実施し、情報教育の充実・教育の情報化を推進する。						
H28年度 目標	ICTを活用した「わかりやすい授業」づくりを推進する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	検討	検討	実施	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	「アクティブ・ラーニングとICT」をテーマに次期学習指導要領を踏まえた研修を研究主任、情報教育推進委員を対象に実施 6月30日 「わかりやすい授業づくり」をテーマについて若手教員育成研修を実施 7月21日						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	「わかりやすい授業」づくりのためのICT活用方法について理解が進んだ。今後は教員用コンピュータの整備とともに授業実践を推進する。						

14 学校の全教育活動を通じた計画的な人権教育の実施

施策名	2 心の教育 (5) 人権教育の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	教職員による的確な児童・生徒理解の基、全教育活動を通して、一人一人を大切にする組織的・計画的な人権教育を実施する。						
H28年度 目標	全教育活動を通じた計画的な人権教育を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	計画的な人権教育の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	全小・中学校で、年間指導計画に基づき、人権教育を実施した。 (服務事故防止・体罰防止研修、不登校対策委員会、いじめ防止研修の実施)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	児童・生徒の人権感覚や人権意識を高める教育は非常に重要であるとする。今後も人権教育の質を高めていくことが必要であるので、全教育活動を通じた計画的な人権教育を推進していく。						

15 「小金井子どもの権利に関する条例」の周知

施策名	2 心の教育 (5) 人権教育の充実		担当	指導室			
事業内容 (事業目標)	「小金井市子どもの権利に関する条例」を学校に周知することで、人権教育を推進する。						
H28年度 目標	リーフレットを活用して、「小金井市子どもの権利に関する条例」の学校への周知を一層進める。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	検討	検討	実施	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	「小金井市子どもの権利に関する条例」リーフレットの配布・周知 (校長会、副校長会、人権教育推進委員会) 学校訪問時に教育委員会から教員に対して直接周知 小学校5校 中学校2校						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	「小金井市子どもの権利に関する条例」について、4、5月中に全小・中学校に周知し、年間を通じてその取組の確認を行う。						

16 人権教育に係る教職員研修の実施

施策名	2 心の教育 (5) 人権教育の充実		担当	指導室			
事業内容 (事業目標)	人権教育に対する意識を高め、指導力を身に付けさせるため、教職員に対する研修を実施する。						
H28年度 目標	人権教育に係る教職員向け研修会を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	教職員の人権感覚を高める研修の実施 5月16日(16人)、5月17日(24人) 人権尊重教育推進校公開授業及び研究報告・講演会への参加 10月28日(16人) 人権教育プログラムを活用した授業研究 11月18日(17人)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	教職員の人権感覚は、児童・生徒への指導に強く結びつく。その点で、教職員の研修は重要である。今後は教員研修の機会を増やしていく。						

17 児童会、生徒会等による主体的活動の実施

施策名	2 心の教育 (6) 豊かな心の育成	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	児童会、生徒会等の特別活動を通して、児童・生徒の主体的活動を促し、自主性を育成する。						
H28年度 目標	学校行事等において、児童会、生徒会等による主体的活動を取り入れる。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	あいさつ運動やいじめ防止など、児童会・生徒会等による主体的活動を実施した学校 14 / 14校 (100%)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	児童会、生徒会等による主体的活動が、各校の創意工夫により、一層活性化していくようにする。						

18 学校における体験活動の実施

施策名	2 心の教育 (6) 豊かな心の育成	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	職場体験や福祉体験等、学校における体験活動を通して、児童・生徒の豊かな心の育成に取り組む。						
H28年度 目標	全校、全学年において、体験活動を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	体験活動の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	教科等のねらいと体験活動を効果的に関連付けた学習を計画的に実施した学校 14 / 14校 (100%)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	学校における体験活動の一層の充実を図る。						

19 学校・保護者・地域が連携した道徳教育の実施

施策名	2 心の教育 (6) 豊かな心の育成	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	各学校が、保護者・地域と連携した道徳教育を実施することで、児童・生徒に豊かな心をはぐくむ。						
H28年度 目標	各学校が、保護者・地域と連携した道徳教育を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	道徳授業地区公開講座等を活用して、保護者・地域と連携した道徳教育の推進を計画的に実施した学校 14 / 14校 (100%)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	三者の一層の連携を進める中で、道徳教育の充実を図る。						

20 いじめ、不登校等に対する組織的な教育相談の実施

施策名	2 心の教育 (7) 教育相談の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	いじめや不登校等、児童・生徒が抱える多様化、複雑化した課題の解決に向け、教員の資質向上を図り、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携した組織的な教育相談体制の充実を推進する。						
H28年度 目標	いじめ、不登校の未然防止及び早期発見・早期解決を目指した学校の教育相談体制を構築し、迅速に問題解決を行う。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	いじめや不登校等に対応する校内委員会の設置し、開催した学校 14 / 14校 小5・中1を対象にスクールカウンセラー全員面接の実施した学校 14 / 14校 不登校支援コーディネーターを中心に教育相談を充実した学校 14 / 14校						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	東京都いじめ総合対策及び東京都不登校対策モデル事業を受け、小金井市の実態に合わせたいじめ問題や不登校の対策を行った。今後は、東京都いじめ総合対策【第2次】の取組の推進及び東京都不登校対策モデル事業の成果を生かした取組を行う。						

21 専門機関と連携した教育相談の実施

施策名	2 心の教育 (7) 教育相談の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	いじめや不登校等、児童・生徒が抱える多様化、複雑化した課題の解決に向け、相談内容に応じた専門機関と連携を深めた教育相談の充実を図る。						
H28年度 目標	医師、大学教授、作業療法士、臨床心理士等の専門家を学校へ派遣し、専門的な知見を生かしたアセスメントを行い、教育相談の充実を図る。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	様々な悩みを抱える児童・生徒一人一人に対して、きめ細かく対応するために、医療機関、大学、専門学校、都立特別支援学校等と連携し、巡回相談を実施した学校 年3回×14校 (合計42回)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	各小・中学校で医療機関や大学、都立特別支援学校等との連携によるケース会議の他、校内研修が行われるようになり、学校の教育相談機能が充実した。今後とも取組を継続する。						

22 教育相談等に係る教員研修の実施

施策名	2 心の教育 (7) 教育相談の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	いじめや不登校等、児童・生徒が抱える多様化、複雑化した課題の解決に向け、教員の資質向上を図る。						
H28年度 目標	いじめ問題、不登校、虐待、進路等、児童・生徒の抱える課題を理解し、課題解決のための効果的な指導方法についての研修会を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	教育相談研修「学級担任が身に付けたい学校コーチング技術」 8月24日(29人) 関係機関と連携した地区連絡協議会 7月29日(15人)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	教育相談に当たる教員の児童・生徒の抱える課題や効果的な指導・対応に関する姿勢と意識を向上を行った。今後は、様々な校務分掌に教育相談の機能を生かしていくように、教育相談に関する研修の充実を行う。						

23 地域・ボランティア活動の啓発

施策名	2 心の教育 (8) 社会貢献精神の育成		担当	指導室			
事業内容 (事業目標)	児童・生徒が思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする意欲や態度を育むために、地域・ボランティア活動への参加を推奨する。						
H28年度 目標	ボランティアカードを活用し、地域・ボランティア活動への参加を推奨するとともに、小金井市児童・生徒表彰にて表彰するなど積極的に評価する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	地域社会などでボランティア活動に参加した児童・生徒 小学校6年生 30.9% (東京都32.6%、全国36.2%) 中学校3年生 53.8% (東京都50.1%、全国48.7%)						
評価 (Check)	B						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	地域・ボランティア活動の情報提供や積極的な評価及び賞賛を市内小・中学校や関係する他課と連携して取り組んだ。今後も地道な取組を継続的に行う。						

24 意図的、計画的なキャリア教育の実施

施策名	2 心の教育 (8) 社会貢献精神の育成		担当	指導室			
事業内容 (事業目標)	児童・生徒が思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする意欲や態度を育むために、職場体験学習など職業観や勤労観等、将来のビジョン等を意識するきっかけづくりを行う。						
H28年度 目標	中学生職場訪問、職場体験学習を実施し、生徒の職業観、勤労観を育て、将来に対する期待をもたせる。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	将来の夢や目標を持っている児童・生徒 小学校6年生 81.7% (東京都84.4%、全国85.3%) 中学校3年生 65.1% (東京都69.6%、全国71.1%)						
評価 (Check)	C						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	中学校では、職場体験先を開拓し、職場訪問、職場体験を計画的に実施した。今後は、将来のビジョン等を意識するきっかけづくりなどの取組を推進する。						

25 郷土に対する理解や郷土愛に関する学びの実施

施策名	2 心の教育 (9) ふるさと教育の推進		担当	指導室			
事業内容 (事業目標)	小金井に由来する人物、風土、環境等をテーマにした学習活動を実施することにより、郷土に関する理解や郷土愛の心を育てる「ふるさと教育」を推進する。						
H28年度 目標	小学校3・4年生社会科を中心に、小金井に由来する人物、風土、環境等をテーマに学習し、郷土に関する理解や郷土愛の心を育てる。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	小金井に由来する人物、風土、環境等について理解を深める授業の実施 小学校9/9校 (100%)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	小学校社会科副読本の内容の充実を行い、小金井に対する児童の理解を深めた。今後は、社会科や道徳などの地域教材の研究・開発を行う。						

26 教員及び児童・生徒の地域行事への参加

施策名	2 心の教育 (9) ふるさと教育の推進		担当	指導室			
事業内容 (事業目標)	地域行事などの積極的な参加を促し、ふるさとへの愛着や誇りの醸成、地域に貢献しようとする意欲の向上を図る。						
H28年度 目標	地域行事の情報提供及びボランティアカードを活用し、児童・生徒の地域行事を促進する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	住んでいる地域の行事に参加した児童・生徒 小学校6年生 44.9% (東京都56.3%、全国67.9%) 中学校3年生 26.2% (東京都35.9%、全国45.2%)						
評価 (Check)	C						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	児童・生徒による地域清掃や科学の祭典のボランティア活動が行われた。今後は、各学校の学校行事等と地域行事の日程調整を行い、多くの生徒がボランティア活動に参加できるようにする。						

27 食育リーダー会議の開催

施策名	3 健康教育 (10) 食育の推進	担当	学務課					
事業内容 (事業目標)	児童・生徒の食生活は、心身の成長や健康の維持増進の上で重要であることから、次世代を担う児童・生徒の望ましい食生活の形成に努めるため、食育に関する研究を行なう。							
H28年度 目標	食育リーダー会議を開催する。(年2回程度)							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	食育リーダー会議の開催(年2回程度)	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
H28年度 事業成果 (Do)	食育リーダー会議を7月と12月の計2回開催し、12月の会議では、和食のテーマである「手づくりみそへのこだわり～健康は最高の宝～」という講演に参加し、味噌についての知識を深め、食育に関する指導方法の研究を行なった。							
評価 (Check)	A							
進捗状況と 今後の展開 (Action)	食育の更なる推進のため、食育に関する指導方法の研究を行なう。							

28 食に関するリーフレットの作成・配布・改定

施策名	3 健康教育 (10) 食育の推進	担当	学務課					
事業内容 (事業目標)	学校での食育の推進とともに、家庭における食生活の大切さの理解向上を図る。							
H28年度 目標	食に関するリーフレットを配布する。							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	家庭での食生活に関するリーフレットの検討・作成	実施	継続	継続	検討	実施	継続	
H28年度 事業成果 (Do)	平成27年度に食育リーダー会で検討・作成したリーフレットを、市立小中学校全児童・生徒の保護者へ配布した。食育の取り組み事例を紹介する等、栄養指導等に活用した。							
評価 (Check)	A							
進捗状況と 今後の展開 (Action)	全児童・生徒の保護者にリーフレットを配布、周知することで、学校と家庭が連携した食育の推進を目指す。平成29年度以降は小学校1年生の保護者に配布する。平成31年度に食育リーダー会で内容の検討を行い、平成32年度に改訂を行なう予定。							

29 特色ある献立の定期的な提供

施策名	3 健康教育 (10) 食育の推進	担当	学務課					
事業内容 (事業目標)	食育の普及・促進のため、給食に特色ある献立を提供する。							
H28年度 目標	地場野菜を取り入れる等、特色ある献立を提供する。							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	地場野菜を取り入れる等の特色ある献立の提供	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
H28年度 事業成果 (Do)	市立小中学校では、教育に関連した特色ある献立を提供するとともに、地場野菜のルバープを使用したパンを献立に取り入れるなど、地場野菜を活用した献立を提供した。なお、野菜の使用総量に占める地場野菜の使用率は5.35%となった。							
評価 (Check)		A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	食育の普及・促進のため、給食に特色ある献立を定期的に提供するとともに、積極的に地場野菜の活用を図る。							

30 オリンピック・パラリンピックに関連した体験や活動等を重視した教育の実施

施策名	3 健康教育 (11) 児童・生徒の体力向上	担当	指導室					
事業内容 (事業目標)	児童・生徒の健やかな体を育てることができるよう、平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに伴うオリンピック・パラリンピック教育推進校の取組や体育授業の改善を推進する。							
H28年度 目標	小・中学校全校においてオリンピック・パラリンピック教育の全体計画・年間指導計画を策定する。日本の伝統文化に触れたりアスリートによる体験学習を実施し、児童・生徒の意識の向上を図る。							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	
H28年度 事業成果 (Do)	オリンピック・パラリンピック教育推進校 14/14校 (100%) オリンピック・パラリンピック教育重点校 中学校1校 スーパーアクティブスクール指定校 中学校1校							
評価 (Check)		A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	先進的に取り組んでいるオリンピック・パラリンピック教育重点校の取組を市内小・中学校に広め、より一層の充実を図る。							

31 基礎体力や運動能力を高める体育授業の実施

施策名	3 健康教育 (11) 児童・生徒の体力向上	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	児童・生徒の健やかな体を育てることができるよう、運動やスポーツへの興味・関心を引き出し、基礎体力、運動能力を高めるなどの体力向上を推進する。						
H28年度 目標	コーディネーショントレーニングの普及と東京都体力調査の分析結果を基にした体育授業の改善						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	体力向上推進委員会で体力調査結果の分析し、次年度計画を作成 5月9日～3月9日 実技研修「ベースボール型授業実践～投力を高める指導法～」 6月9日 (28人) コーディネーショントレーニング研修会を実施 3月9日 (18人)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	体力向上推進委員会を活用し、体力調査結果の分析や体育授業の改善についての研究を継続して行い、体育授業や体育的活動の充実を図る。						

32 福祉体験活動の実施

施策名	4 福祉教育 (12) 心のバリアフリー事業の推進	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	誰もが相互に多様な個性を尊重し、皆が協力して手助けができる社会の実現に向け、福祉体験活動を通じて障害に対する理解教育を推進する。						
H28年度 目標	各校の福祉体験活動を年間計画に位置付け、計画的に実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	福祉に関する学習（バリアフリー、ユニバーサルデザイン、車椅子、点字、ブラインドサッカーの体験）を実施した学校 14 / 14校 (100%)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	障害のある方との交流や福祉体験活動を通じて障害に対する理解を促進した。 今後は、2020東京パラリンピックの内容を取り入れた活動を推進する。						

33 障害のある方との交流活動の実施

施策名	4 福祉教育 (12) 心のバリアフリー事業の推進	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	誰もが相互に多様な個性を尊重し、皆が協力して手助けができる社会の実現に向け、互いに思いやる心の醸成を図る。						
H28年度 目標	障害のある方との交流を各学校で実施し、児童・生徒の互いに思いやる心を醸成する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	障害のある方との交流を実施した学校 14 / 14校 (100%) (①障害のある人との交流、②特別支援学校との交流、③地域に居住する特別支援学校に在籍する児童生徒との交流、④特別支援学級と通常の学級の交流及び共同学習)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	互いに思いやる心の醸成は、単年度の成果が見え難く、継続的な取組が必要と考える。今後は、心のバリアフリー事業の好事例を全校に紹介し、各校の取組の促進を行う。						

34 職層、職種別の教員研修の実施

施策名	5 特別支援教育 (13) 特別支援教育の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	障害のある児童・生徒の一人一人の能力を最大限に伸長するため、特別支援教育に関する教員研修の内容の充実を行う。						
H28年度 目標	若手教員から管理職まで職層、職種に合わせた特別支援教育の専門的な研修を行う。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	初任者研修「発達障害の理解」～どの子にも分かる授業づくり～ 12月6日 特別支援学級設置校長会 (10回実施)、特別支援学級推進委員会 (8回実施) 特別支援教育研修会 (8回実施延べ112人)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	若手教員から管理職まで職層、職種に合わせた教員研修を継続して実施する。今後は、特別支援教室の導入など新たな取組に向けた研修を行う。						

35 特別な教育ニーズがある児童・生徒に対する人的支援の実施

施策名	5 特別支援教育 (13) 特別支援教育の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	障害のある児童・生徒の一人一人の能力を最大限に伸長するため、特別な教育ニーズがある児童・生徒に対する効果的な支援を充実する。						
H28年度 目標	特別な教育ニーズがある児童・生徒に効果的な支援を計画的に実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	巡回相談（学期1回、年3回）、専門家チームによる専門相談の活用 特別支援学習指導員による対象児童・生徒に対する個別指導等への取組の実施 特別支援教育支援員による児童・生徒の学校生活上の介助や学習支援の実施						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	特別な教育ニーズがある児童・生徒に対し、教育相談、学習指導、生活介助についての支援を計画的に行い、一定の成果が見られた。 今後は、個別の支援計画、個別の指導計画の充実とともに、より教育効果のある支援を推進する。						

36 特別支援教室等を活用した学習の実施

施策名	5 特別支援教育 (13) 特別支援教育の充実	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	障害のある児童・生徒の一人一人の能力を最大限に伸長するため、特別支援教室等による効果的な教育活動を推進する。						
H28年度 目標	特別支援教室等を利用した学習の試験的な実施						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	試験的な実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	市内小学校にて特別支援教室等を利用した学習を研究・検証 小学校2校 先行実施地区の視察を実施 10月5日、1月13日 小金井市特別支援教室開設準備委員会 (5回実施)						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	平成30年度の小学校特別支援教室開設に向けた市民向け説明会を実施した。 今後は、円滑な実施に向けたマニュアル等を整備し、教員研修を行う。						

37 近隣大学、研究所及び高度教育機関等との連携事業の実施

施策名	6 地域連携 (14) 学校地域連携の推進	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	近隣大学、研究所、及び高度教育機関等との連携を図り、質の高い教育活動を展開する。						
H28年度 目標	近隣大学、研究所、及び高度教育機関等との連携を開始する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	検討	
H28年度 事業成果 (Do)	東京学芸大学 教職大学院連携協力校 小学校3校、中学校3校 武蔵野大学 教育インターンシップ受入校 小学校3校、中学校3校 東京都立多摩科学技術高等学校 地域連携企画1月21日(市民参加)						
評価 (Check)		A					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	今後、連携する大学及び市立小・中学校等を拡大していく。						

38 学校と地域の連携事業の実施

施策名	6 地域連携 (14) 学校地域連携の推進	担当	指導室				
事業内容 (事業目標)	地域の高い教育力を生かし、これまで以上に文化・教育及び学術の振興・発展等を図るために学校地域連携を推進する。						
H28年度 目標	全校が学校、地域の連携事業に取り組む。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	学校・地域の連携事業の実施校数 12 / 14校 (86%) (内訳 小学校 9 / 9校、中学校 3 / 5校)						
評価 (Check)		B					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	学校、地域連携事業の実施内容を:他校と比較・検討し、実施回数を計画的に増やしていく。						

39 教育用 I C T 機器の整備

施策名	7 ICT環境の整備 (15) ICT機器の整備		担当	学務課			
事業内容 (事業目標)	学習環境の向上及び情報化への対応を推進するため、教育用 I C T 機器の整備を行う。						
H28年度 目標	教育用 I C T 機器の整備を進める。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	教育用 I C T 機器の整備を推進	小学校 37台/校 中学校 60台/校	小学校 50台/校 中学校 60台/校	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	あらたな教育用 I C T 機器の導入にいたらず、現状の小学校20台/校、中学校40台/校を継続している。機器整備を進めるため、小金井市小・中学校 I C T 機器整備に関する検討委員会を設置し協議を開始し、次年度の機器整備のための準備を行なった。						
評価 (Check)		C					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	平成29年度以降、継続的に機器等が導入できるように検討委員会を開催する。また、同時にコンピュータ教室の必要性を再検討する。						

40 校務用 I C T 機器の整備

施策名	7 ICT環境の整備 (15) ICT機器の整備		担当	学務課			
事業内容 (事業目標)	効率的な校務処理とその結果生み出される教育活動の更なる質の向上を図るため、校務用 I C T 機器の整備を図る。						
H28年度 目標	校務用 I C T 機器の整備を進める。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	校務用 I C T 機器の整備を推進	継続	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	機器整備を進めるため、小金井市小・中学校 I C T 機器整備に関する検討委員会を設置し、協議を開始した。また、平成29年度に向けて校務用サーバ等機器更改のための準備を行った。						
評価 (Check)		B					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	平成29年度に校務用サーバの更改を実施する。また、継続的に検討委員会を開催し、校務用パソコンの入替の計画や準備を行う。						

41 計画的・長期的な方針に基づく、長寿命化を含めた学校施設整備計画の策定

施策名	8 学校施設 (16) 学校施設整備の推進		担当	庶務課			
事業内容 (事業目標)	中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保するため、個別施設毎の長寿命化計画を策定する。						
H28年度 目標	個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）の策定方法等を検討する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	個別施設計画策定に関する調査・研究	検討	検討	検討	策定着手	策定	整備計画に基づく改修事業の検討
H28年度 事業成果 (Do)	個別施設計画の策定方法等について検討を実施した。						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	他市の状況等を研究し、策定方法の方向性等を検討した。今後は、公共施設等総合管理計画（平成28年度策定）を基に、更に検討を進める。						

42 非構造部材整備事業

施策名	8 学校施設 (16) 学校施設整備の推進		担当	庶務課			
事業内容 (事業目標)	学校施設が、児童・生徒が一日の大半を過ごす生活の場であるとともに、災害発生時には地域住民の避難所となることに鑑み、児童・生徒の生命等の安全を確保するとともに、避難所としての役割を果たすために必要な非構造部材の耐震化を行う。						
H28年度 目標	小中学校4校において、非構造部材の耐震化を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	2校実施	4校実施	4校実施	6校実施(終了)			
H28年度 事業成果 (Do)	中学校1校については全てを、また、中学校2校については予定の一部を実施した。小学校1校については、事業を実施できなかった。						
評価 (Check)	D						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	入札手続開始時期が例年と異なったことに伴い、授業への影響を考慮し、事業の一部のみの実施となった。未実施分については、平成29年度に実施する。						

43 トイレ整備事業

施策名	8 学校施設 (16) 学校施設整備の推進						担当	庶務課
事業内容 (事業目標)	老朽化したトイレの環境改善（3K 「汚い・臭い・暗い」の解消）を図るため、利用のしやすさや維持管理のしやすさを考慮した改修を行う。							
H28年度 目標	小学校1校の整備を実施する。							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	4校実施	1校 実施	1校 実施	1校 実施	1校 実施	1校 実施	1校実施	
H28年度 事業成果 (Do)	小学校1校において事業を実施した。							
評価 (Check)	[斜線]	A	[斜線]	[斜線]	[斜線]	[斜線]	[斜線]	
進捗状況と 今後の展開 (Action)	国庫補助事業について不採択となったことにより、市の財政負担が増加したが、計画どおり実施した。平成29年度以降においても、計画どおり実施する。							

点検及び評価表（生涯学習）

1 概要

生涯学習では、小金井市教育委員会の基本方針及び「第3次小金井市生涯学習推進計画」に基づいた平成28年度教育施策を推進するための様々な事業を展開し、点検及び評価に当たっては、26事業を評価対象とした。

平成28年度については、全26事業中15事業をA評価「達成している」、9事業をB評価「概ね達成している」と評価し、A評価とB評価を合わせると事業全体の92.3%となり、生涯学習における事業が大きな問題なく推進できているものと評価する。

一方、年度目標を達成したとはいえない項目として、「45 まなびあい出前講座」と「55 シニア世代のための地域参加講座」の2事業をC評価と評価した。前者は、アンケート等を参考に新規講座メニューの追加や広報を充実させることが求められる。後者は、講座内容の更なる充実が求められる。いずれも改善の必要があると評価した。

なお、D評価はなかった。また、S評価「予想以上の効果を上げている。」が無いのは、「第2次明日の小金井教育プラン」と同様、平成28年度が「第3次小金井市生涯学習推進計画」の初年度に当たるため、各事業とも予想以上に効果的な結果が得られた取り組みにまで充実していないものと考えられる。

2 評価結果総括

	事業数	S	A	B	C	D
(1) 学びに関する情報提供と相談体制の充実	1			1		
(2) 自主的な学習活動への支援	1				1	
(3) 施設の充実と有効活用の推進	4		2	2		
(4) 子どもの居場所づくり	1			1		
(5) 世代に応じた学習機会の充実	5		2	2	1	
(6) 多様な学習機会の提供	10		6	4		
(7) 歴史に親しむ機会の提供	1		1			
(8) 地域人材・リーダーの育成と活用の促進	2		1	1		
(9) 生涯学習の市外との広域連携の推進	1			1		
合 計	26	0	12	12	2	0
内 訳 (%)		0.0%	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%

3 評価表

44 サークル案内							
施策名	1 学びを豊かにする環境づくり (1) 学びに関する情報提供と相談体制の充実			担当	生涯学習課		
事業内容 (事業目標)	社会振興を図るため、社会教育関係団体の登録を行っている。活動内容等が情報を必要とする人にわかりやすく提供できるように、ホームページ掲載等による周知を行うようにする。						
H28年度 目標	社会教育関係団体登録数 115団体、ホームページ掲載等による周知方法の検討						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	社会教育関係団体の周知	検討	検討	試行	継続	継続	社会教育関係団体の周知
H28年度 事業成果 (Do)	社会教育関係団体登録数 112団体、ホームページ掲載等による周知方法の検討						
評価 (Check)		B					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	ホームページの掲載等について、社会教育委員の会議において話し合いを行っている。他自治体のホームページ等も参考にし、次回の登録更新の時期に合わせてホームページの掲載を行う。						

45 まなびあい出前講座							
施策名	1 学びを豊かにする環境づくり (2) 自主的な学習活動への支援			担当	生涯学習課		
事業内容 (事業目標)	市民・団体が主催する学習会に、市役所・警察署・消防署や各種団体・企業の職員が出向き、担当事業などについての講演・講座を実施することにより、市民の生涯学習活動を支援する。						
H28年度 目標	実施回数55回、聴講者数1,000人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	出前講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	出前講座の実施
H28年度 事業成果 (Do)	実施回数20回、聴講者数733人						
評価 (Check)		C					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	市民のニーズに的確に対応するため、新規事業等、新たに講座として追加できるものがないか毎年確認等を行っている。昨年度は目標を下回ったが、一度利用した団体が継続して利用することも多くあるため、まずは本事業を更に知ってもらうための広報のやり方を検討し、実施していく。						

46 公民館維持管理事業

施策名	1 学びを豊かにする環境づくり (3) 施設の充実と有効活用の推進	担当	公民館					
事業内容 (事業目標)	施設の整備を図り、利用者への利便に供する。							
H28年度 目標	公民館は貫井北分館を除き、全体的に老朽化した施設である。公民館の安全、安心、快適な施設環境を市民に提供するために、計画的に故障箇所を修繕し、整備を図る。							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	公民館施設の維持管理に必要な各種業務の実施を行う。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
H28年度 事業成果 (Do)	施設を良好な状態で使用するため、貫井南分館の屋上防水改修工事を実施した。その他施設の維持管理のため必要に応じて保守点検や修繕を行った。また、優先度を見ながら故障箇所の修繕に取り組んだ。							
評価 (Check)		B						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	公共施設の維持管理に必要な保守点検及び必要な整備は、その時々に行っていくながら先を見据えた施設の長寿命化を踏まえた維持管理計画は必要であると考え。引き続き施設の改修計画策定に向けた取組みが必要である。							

47 図書館維持管理業務

施策名	1 学びを豊かにする環境づくり (3) 施設の充実と有効活用の推進	担当	図書館					
事業内容 (事業目標)	適切な施設の維持管理を図り、利用者に安全で快適な読書環境を提供する。							
H28年度 目標	利用者に安全で快適な読書環境を提供するため、早急に修繕が必要な箇所から修繕する。							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
H28年度 事業成果 (Do)	【平成28年度に行った主な施設修繕等】 図書館本館空調設備の設計委託、図書館本館防災照明改修工事、図書館本館受水槽まわり修繕							
評価 (Check)		A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	昭和50年開館の図書館本館は老朽化が進んでおり、順次、修繕している状況である。今後は利用者等の安全を確保する為、緊急性のある箇所から順次改修工事を行う。							

48 総合体育館維持管理事業

施策名	1 学びを豊かにする環境づくり (3) 施設の充実と有効活用の推進	担当	生涯学習課					
事業内容 (事業目標)	総合体育館を、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として供するため、指定管理者制度を導入し、効率的・経済的に管理運営する。個人・団体ともに利用しやすく、安全を確保するため、施設及び設備整備の充実を図る。							
H28年度 目標	総合体育館利用者数320,000人							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	総合体育館維持管理 事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	総合体育館維持管理 事業の実施	
H28年度 事業成果 (Do)	総合体育館利用者数327,804人 屋上防水等改修工事を行った。							
評価 (Check)	A							
進捗状況と 今後の展開 (Action)	公共施設管理計画を基本とし、老朽化が起因する不具合を修繕等整備する。							

49 文化財センター維持管理事業

施策名	1 学びを豊かにする環境づくり (3) 施設の充実と有効活用の推進	担当	生涯学習課					
事業内容 (事業目標)	市指定史跡である旧浴恩館を保存公開するとともに、同建物を文化財センターとして活用し、郷土の歴史、民俗等に関する資料、保管、展示を行う。							
H28年度 目標	入館者数4,200人							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	文化財センター維持 管理	継続	継続	継続	継続	継続	H4年改修後30年となる H34年に向けて、基本、 実施設計の検討	
H28年度 事業成果 (Do)	入館者数3,419人							
評価 (Check)	B							
進捗状況と 今後の展開 (Action)	今年度は、学校の児童、生徒に季節展のチラシを配付し、若年層を呼び込むよう努力した。引き続き、郷土の歴史を身近に感じてもらうため、関心を引き込む工夫や検討を行いたい。木造施設内の文化財等を守るためには、防火対策経費が億単位となることから、文化財所蔵施設を耐火建築物へ建替えることこそが急務かと思われる。							

50 放課後子ども教室							
施策名	2 学びを通じた人づくり (4) 子どもの居場所づくり			担当	生涯学習課		
事業内容 (事業目標)	放課後や週末等に学校施設等を活用し、地域の方々の参画を得て、読書教室や工作教室、校庭遊び等を実施する。一体型放課後子ども教室、連携型放課後子ども教室を31年度までに実施する。						
H28年度 目標	参加人数26,000人、実施回数550回、一体型放課後子ども教室、連携型放課後子ども教室を実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	一体型、連携型放課後子ども教室の実施	実施	実施	実施	実施	実施	一体型、連携型放課後子ども教室の実施
H28年度 事業成果 (Do)	参加人数31,937人、実施回数822回。一体型放課後子ども教室、連携型放課後子ども教室、ともに未実施。						
評価 (Check)	/	B	/	/	/	/	/
進捗状況と 今後の展開 (Action)	参加人数、実施回数については、各学校で工夫を凝らしながら事業を進めることができ、計画を上回った。ただし、一体型の放課後子ども教室の整備が進まなかったため、今後関係部署と連携を図りながら、平成31年度の実施を目指し、進めていく。						

51 図書館児童サービス事業							
施策名	2 学びを通じた人づくり (5) 世代に応じた学習機会の充実			担当	図書館		
事業内容 (事業目標)	児童に対する読書活動の推進を図るため、「おはなし会」等を実施する。						
H28年度 目標	おはなし会 延べ参加者数 約1900人 (27年度は開催回数109回、延べ参加者数1769人)						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	おはなし会：開催回数103回、延べ参加者数1902人 子どもと読書に関する講座：開催回数5回、延べ参加者数58人						
評価 (Check)	/	A	/	/	/	/	/
進捗状況と 今後の展開 (Action)	第3次小金井市子ども読書活動推進計画に沿って展開していく。また、広く啓発活動を行い、参加人数を増やすよう努める。						

52 青少年のための科学の祭典

施策名	2 学びを通した人づくり (5) 世代に応じた学習機会の充実	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	教育・研究機関及び各種企業・団体等との連携により、実験やものづくりブースなど、青少年に科学の楽しさ・不思議さを体験してもらうイベントを開催する。中学生のボランティアも募り、社会体験の場を与えている。						
H28年度 目標	来場者数8,000人、中学生ボランティア100人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	科学の祭典の実施	継続	継続	継続	継続	継続	科学の祭典の実施
H28年度 事業成果 (Do)	来場者数7,750人、中学生ボランティア26人						
評価 (Check)	B						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	今後も引き続き無事故で開催できるよう万全の対策を図る。午前中雨が降り、目標の来場者数には少し届かなかった。中学生ボランティアについては、人のために活動し感謝してもらうことで、喜びや感動、充実感を得られたという意見が多くあった。時期が定期試験や部活動(試合等)と重なってしまい、目標数を大きく下回ってしまった。さらなる来場者数とボランティア数の増加を目指す。						

53 家庭教育学級

施策名	2 学びを通した人づくり (5) 世代に応じた学習機会の充実	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	家庭教育の諸問題、家族関係、子どもの健康や遊び、文化等をテーマとした講座・講演・イベント等を各校年1回企画・実施する。						
H28年度 目標	実施回数14講座、参加者数2,800人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	家庭教育学級開設	継続	継続	継続	継続	継続	家庭教育学級開設
H28年度 事業成果 (Do)	実施回数14講座、参加者数3,033人						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	今後も事業目的の理解の徹底を図りつつ、実施を継続する。						

54 少年自然の家維持管理事業

施策名	2 学びを通じた人づくり (5) 世代に応じた学習機会の充実	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	少年自然の家(清里山荘)を、自然の中で気軽に利用でき親しみのもてる施設、安全で利用しやすい施設とすることを基本として、指定管理者制度を導入し効率的・経済的に管理運営する。						
H28年度 目標	利用者数8,000人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	少年自然の家維持管理	継続	継続	継続	継続	継続	少年自然の家維持管理
H28年度 事業成果 (Do)	利用者数6,828人						
評価 (Check)		B					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	平成28年度は大浴室の洗い場の床の張替え等を行い、施設の維持管理に努めた。今後も計画的な施設の改修等を行い、安全な運営と更なる利用促進を図る。また、利用者数が減少していることから、指定管理者と協力しながら、周知方法の工夫等を行い、利用者数の増加に努める。						

55 シニア世代のための地域参加講座

施策名	2 学びを通じた人づくり (5) 世代に応じた学習機会の充実	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	定年退職を迎える方等を対象に、市の歴史、地域活動や暮らし方などを紹介する講座を開催する。						
H28年度 目標	講座参加者数200人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	シニア世代のための地域参加講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	シニア世代のための地域参加講座の実施
H28年度 事業成果 (Do)	講座参加者数延べ86人						
評価 (Check)		C					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	毎年、同じ位の時期に本講座を開催してきたが、講座を開催する時期や曜日についても、より参加しやすい日程について検討していきたい。また、参加者を増やすため、周知方法についても検討していきたい。						

56 貸出サービス事業

施策名	2 学びを通じた人づくり (6) 多様な学習機会の提供	担当	図書館					
事業内容 (事業目標)	図書館の利用推進を図るため、住民1人当たりの図書貸出冊数の増加に努める。							
H28年度 目標	住民1人当たりの図書貸出冊数 8.2冊							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
H28年度 事業成果 (Do)	住民1人当たりの図書貸出冊数 8.0冊							
評価 (Check)	B							
進捗状況と 今後の展開 (Action)	平成26年度に貫井北分室が開設したことにより、住民1人当たりの貸出冊数は急激に伸びたが、その後はほぼ横ばいが続いている。今後は時代に沿ったサービスの見直しを図り、新たな利用者を開拓して、貸出冊数の増加に努めていく。							

57 ITサポート事業「こがねいパソコン相談室」

施策名	2 学びを通じた人づくり (6) 多様な学習機会の提供	担当	公民館					
事業内容 (事業目標)	ITボランティアの協力により、各公民館で毎週水曜・日曜日の午後1時から3時まで、予約なしで無料のパソコン相談を開催							
H28年度 目標	市民のデジタルディバイド（情報格差）の解消を図るため、個々人のパソコン操作に伴うスキルアップやパソコンに関する具体的な問題について解決する。 年間相談回数546回、延相談者数1,002人							
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
計画 (Plan)	市民個々人のパソコン操作に関するスキルアップやパソコンに関する具体的な問題の解決	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
H28年度 事業成果 (Do)	多くの市民の相談に応じることができ、パソコン操作のスキルアップ、パソコンに関する具体的な問題の解決が図られた。また、新設の貫井北分館でも7月から事業開始した。 年間相談回数462回、延相談者数987人							
評価 (Check)	A							
進捗状況と 今後の展開 (Action)	数値的な指標の設定が難しい面があるが、理想の目標としては、相談により問題が解決することで市民のITに対するスキルアップが図られ、相談者数が減ることである。IT化が進む中、パソコンを使いこなせる市民も多くなっている。一方で、情報機器が日進月歩で進歩しており、ITの活用に不慣れな市民の相談も多いことから相談室を継続する。							

58 市民が作る自主講座

施策名	2 学びを通じた人づくり (6) 多様な学習機会の提供	担当	公民館				
事業内容 (事業目標)	公共性のある地域課題、生活課題について市民自身が講座を企画運営することの重要性が増している。市民自身の手による学習活動を支援し、地域の生涯学習活動の活性化に寄与する。						
H28年度 目標	市民による幅広い内容の講座を実施できるよう支援する。合わせて自主グループ化を目指す。市民の自主的な学習意欲を喚起・保障するとともに、学習範囲を広げる。 7講座、男女共同参画部門5講座、計12講座。延参加者数867人。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	市民による様々な地域課題についての講座開設に対する支援	継続	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	講座数、延参加者数が減ったが、説明会を実施したことで、地域課題を含め、市民の希望による多種多様な講座が実施できた。昨年度の講座を受講した人たちによる自主グループが結成され、今年度の講座の企画が行われた(3団体3講座)。7講座、男女共同参画部門6講座、計13講座。延参加者数896人。						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	応募者の希望により講座数の増減があったり、参加者の増減があったりするが、数値目標だけで成果といえない性格もあると考える。昨年度の受講者が自主グループを立ち上げ、自主講座を企画するなど、今後もこのような学習活動が継続されるよう支援していく。引き続き、説明会等の支援を行い、講座数や参加者数の増加につなげていく。						

59 障がい者サービス事業

施策名	2 学びを通じた人づくり (6) 多様な学習機会の提供	担当	図書館				
事業内容 (事業目標)	小金井市立図書館処務規程第4条及び小金井市立図書館ハンディキャップ・サービス実施要綱により、視覚障がいをお持ちの方等を対象とした図書を作成及び貸出し、読書の機会の拡充を図る。						
H28年度 目標	デージー図書貸出し:60タイトル 点字図書貸出し:3タイトル						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	デージー図書貸出し:89タイトル 点字図書貸出し:0タイトル						
評価 (Check)	B						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	広報等でより多くの方に周知を行い、図書館利用を増やすように努める。						

60 青年国際交流講座「生活日本語教室」

施策名	2 学びを通じた人づくり (6) 多様な学習機会の提供	担当	公民館				
事業内容 (事業目標)	日本語の日常会話に不自由している市内在住及び近隣の外国人に対して、ボランティアスタッフが、毎週土曜日の午前中、市民生活に必要な日常会話の学習を支援するほか、各種イベントを開催し、外国籍市民との交流活動を推進する。						
H28年度 目標	参加者の日本語の日常会話の技術向上及び参加者同士及びスタッフとの交流並びにイベント開催による参加者の日本文化への理解促進。 年間45回、延参加人数885人、延ボランティアスタッフ947人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	市民生活に必要な日本語の日常会話の学習や各種イベントなどを通じた外国籍市民との交流活動	継続	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	日本語学習をはじめ、七夕、野外研修、新年会、日本文化体験等のイベントを開催した。 年間45回、延参加人数1,006人、延ボランティアスタッフ894人						
評価 (Check)		A					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	引き続き、市民生活に必要な日本語の日常会話の学習や各種イベントを開催し、公民館を活用した外国籍市民との国際交流事業として前年度実績程度を目標に継続する。						

61 市史編さん活動

施策名	2 学びを通じた人づくり (6) 多様な学習機会の提供	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	小金井市の歴史を学術的に振り返り、今後の市政の発展や、市民の郷土意識の向上のため、小金井市史資料編4冊及び通史編1冊を刊行する。						
H28年度 目標	市史資料編近代、市史編纂資料第56編(梶野新田梶野家文書(1))の発行						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	市史編さん活動の実施	充実	充実	充実	実施	実施	市史編纂資料の発行
H28年度 事業成果 (Do)	市史資料編 近代、市史編纂資料第56編の発行						
評価 (Check)		A					
進捗状況と 今後の展開 (Action)	市史の発行は28年度に資料編近世、30年度に資料編考古及び通史編を発行にて一旦終了の予定。各専門(現代・近代・近世・考古)部会長のもと、市民協働の観点から、市民協力員の協力も得て、調査員が市史刊行に向け、調査研究を進めている。市史刊行後の平成31年度以降も、従来毎年実施してきた古文書資料作成は今後も継続していく予定。						

62 古文書講座

施策名	2 学びを通じた人づくり (6) 多様な学習機会の提供	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	古文書の専門家に講師を依頼し、小金井市文化財センターにおいて年3回講座を実施する。						
H28年度 目標	実施回数3回、受講者60人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	古文書講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	古文書講座の実施
H28年度 事業成果 (Do)	実施回数3回、受講者61人						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	古文書に興味のある方へ基礎知識の習得を支援するとともに、今後も継続して実施していく予定。受講後、古文書に興味をもった方は自主活動グループへ参加する流れとなるので、市史編さん等に協力していただく人材発掘、育成の機会としての意味合いもある。						

63 体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助事業

施策名	2 学びを通じた人づくり (6) 多様な学習機会の提供	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	スポーツ行政に深く関わりのある体育協会と総合型地域スポーツクラブに対して、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。スポーツ団体への運営経費を補助することにより、スポーツの振興を図る。						
H28年度 目標	婦人子供スポーツ大会参加者数1,500人、各種共催大会参加者数8,000人 卓球教室参加者数1,800人、テニール大会参加者数300人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助	継続	継続	継続	継続	継続	体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助
H28年度 事業成果 (Do)	婦人子供スポーツ大会参加者数1,465人、各種共催大会参加者数7,513人 卓球教室参加者数1,856人、テニール大会参加者数150人						
評価 (Check)	B						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	各団体の役割に応じた事業実施、補助金額の妥当性について、定期的に確認・見直しを図りながら団体の活動に対し補助をしていく。						

64 スポーツ開放・学校開放事業

施策名	2 学びを通じた人づくり (6) 多様な学習機会の提供	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	市内小中学校の体育施設や総合体育館及び栗山公園健康運動センターのプールを地域開放する。体育施設を地域開放することで、市民のスポーツ活動の場を確保し、より多くの市民にスポーツの機会を提供する。						
H28年度 目標	スポーツ開放校参加者数3,500人、土曜スポーツクラブ参加者数500人、一中クラブハウス11,300人、南中テニスコート70人、プール無料開放2,500人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	スポーツ開放・学校開放事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	スポーツ開放・学校開放事業の実施
H28年度 事業成果 (Do)	スポーツ開放校参加者数3,680人、土曜スポーツクラブ参加者数637人、一中クラブハウス11,344人、南中テニスコート65人、プール無料開放3,763人						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	市内各学校においても地域住民のために夜間や休日の貸し出しを行っている。引き続き、学校との連携を図りつつ、施設の有効利用をしていきたい。						

65 市民体育祭

施策名	2 学びを通じた人づくり (6) 多様な学習機会の提供	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	市民がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会をつくり、スポーツを通じた健康の維持増進を図る。水泳、野球、テニス、卓球、弓道、ラジオ体操等、全29種目の大会を実施する。						
H28年度 目標	延べ参加者数7,429人（平成27年度実績）						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	市民体育祭の実施	継続	継続	継続	継続	継続	市民体育祭の実施
H28年度 事業成果 (Do)	延べ参加者数7,140人						
評価 (Check)	B						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	参加者数が減少傾向にある。近隣市や市内大学等との連携を図り、会場の確保に努める。						

66 名勝小金井（サクラ）復活プロジェクト

施策名	3 学びを活かしたまちづくり (7) 歴史に親しむ機会の提供	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	「玉川上水・小金井桜整備活用計画」(平成22年3月策定)に基づき、関係機関・市民と協働で史跡玉川上水及び名勝小金井(サクラ)のよりよい整備活用を図る。						
H28年度 目標	市民協働でヤマザクラを補植するとともに、歩道橋を人道橋に架け替える。小金井(サクラ)整備区間における桜並木復活事業の検証にあたり、より多くの近隣住民の意見を聞くためアンケートを実施する。						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	名勝小金井(サクラ)復活プロジェクトの実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	10本のヤマザクラを補植した。桜並木復活事業の検証にあたり、より多くの近隣住民の意見を聞くためアンケートを実施した。近隣670戸に調査、223戸(33%)の回答を得た。						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	桜並木の整備については、計画的に補植を進めていく。市境周辺の桜並木は近隣市との調整が必要である。緑道の整備については、近隣住民への説明の上、工事を進めていく。						

67 ボランティアセミナー

施策名	3 学びを活かしたまちづくり (8) 地域人材・リーダーの育成と活用の促進	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	小平市、国分寺市、小金井市、東京学芸大学と連携し、コーディネーターや学習アドバイザーなどのボランティアを養成する講座を開催する。						
H28年度 目標	受講者数160人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	ボランティアの向上に関する三市・学芸大連携講座	継続	継続	継続	継続	継続	ボランティアの向上に関する三市・学芸大連携講座の開催
H28年度 事業成果 (Do)	延べ受講者数183人						
評価 (Check)	A						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	事業の認知度が高まったためか、受講者数が大幅に増えた。今後も引き続き3市・学芸大と協議し、ボランティアの課題解決に必要なテーマで講演を行っていく。						

68 スポーツ推進委員事業

施策名	3 学びを活かしたまちづくり (8) 地域人材・リーダーの育成と活用の促進	担当	生涯学習課				
事業内容 (事業目標)	スポーツ推進委員を委嘱、育成し、スポーツの推進に係る体制の整備を図る。スポーツの推進のための事業実施に係る連絡調整を行うとともに、市民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行えるよう育成を行う。						
H28年度 目標	障がい者スポーツ指導員（初級）資格取得13人（50%） 研修会等への参加人数延べ150人						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	スポーツ推進委員事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	スポーツ推進委員事業の実施
H28年度 事業成果 (Do)	障がい者スポーツ指導員（初級）資格取得3人 研修会等への参加16回（延べ208人）						
評価 (Check)	B						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	平成28年度はニュースポーツ出前教室の実施し、8回のうち3回は特別支援学級の児童に対して実施した。研修会参加率の増を引き続き目指し、障がい者への指導資格についても全員取得を目指す。また、自事業のマニュアル化と推進委員の指導力アップ、資質の均一化を図る。						

69 広域連携

施策名	4 学び合いのネットワークづくり (9) 生涯学習の市外との広域連携の推進	担当	図書館				
事業内容 (事業目標)	多様化・高度化する利用者ニーズに応えるために、近隣市の図書館との相互利用及び大学図書館との連携を推進していく。						
H28年度 目標	大学図書館利用の推進						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
計画 (Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続
H28年度 事業成果 (Do)	農工大学図書館（小金井図書館・府中図書館）の延利用者数107人、東京経済大学図書館の延利用者数63人						
評価 (Check)	B						
進捗状況と 今後の展開 (Action)	小金井市立図書館利用者は、農工大学図書館及び東京経済大学図書館を無料で利用（館外貸出）でき、特に農工大図書館は夏季休暇中は市内高校生に学習室の開放も実施している。今後は他の近隣大学とも連携を深めていきたい。						

平成29年度 点検・評価に関する有識者の意見

小金井市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項及び小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の実施に関する要綱に基づき、平成29年度（平成28年度評価分）における小金井市教育委員会の点検及び評価を実施するに当たり、有識者から御意見をいただきました。

釧持 勉 委員（帝京科学大学教授）

平成28年度事業に関しては、評価基準の見直しに沿って各事業の成果と課題を明確にしている点は大きく改善の方向性を示したことになる。その上で各事業の中での課題をあげる。

学校教育に関しては、教員の資質向上に関して、実施している状況を判断として評価している状況があり、本来、あるべき姿が見えないまま評価がされている点が課題となる。例えば、13頁、14頁の授業力向上に関して、行政のビジョンが数値化による評価が主流となり、実際の状況が分からないままの評価となっている。若手が若手を育成する時代に入り、各校はその成果の基に職層としての成長を促し、その支援を行政がしていくことが重要なことと考える。したがって、各事業の見える化をさらに推進していく必要がある。

生涯学習に関しては、数値目標と箱物、協議会等の推進状況が一体的な事業が少なくない。例えば39頁、事業番号50「放課後子ども教室」に関しては数値目標を6000名近く上回り、回数でも1.5倍になっている。保護者のニーズの急激な状況の表れである。それをスピード感ある対応が迫られている結果が表れているのである。それが今後の課題に明確に示されて評価になるはずである。

今後さらに、二点について考える必要がある。

一点は「教師の働き方改革」である。教師の勤務時間が大きくクローズアップされているが、自己改革の重要性と行政がシステム化を図る部分があるかを明確に示してこそ、小金井市が教師にとって働きやすい環境になるものと思われる。迅速な対応を願いたい。

二点目は、新規採用の育成である。学級経営を軸とした研修を3月末の一定期間に「小金井の教育」、「学級経営の大切さ」、「4月を乗り切るための学級運営」等を実施することで新規採用教員の資質向上を採用段階から行政の課題として取り組むことである。

腰越 滋 委員（東京学芸大学准教授）

今回評価の平成28年度は、「第2次 明日の小金井教育プラン(平成28年度から平成32年度まで)」及び「第3次小金井市生涯学習推進計画」の、それぞれ初年度目ということもあり、前年度比較が無い。それ

が故にか、S評価は見られない。連動してAからDの各評価も、第1次プランの最終年度であった平成27年度と比較すると、相対的にA・B段階は少なく、C・D段階が多い。比較年度の無い初年度ゆえ当然とも思われるが、学校教育では43全事業中で38項目に相当する88.4%(12頁)が、生涯学習で26全事業中24項目の92.3%(35頁)が、それぞれA・B評価の段階に達しており、この点は前年度までと同様の継続的努力が堅持されているものと見做せよう。

順に意見具申をさせて頂きたい。まず学校教育の「点検及び評価表」の方である。第一に43事業内容のうち、Cが4事業、Dが1事業(点検・評価等会議後、Cが3事業、Dが2事業)となっているが、このうち事業内容39「教育用ICT機器の整備」(評価:C)が目にとまった。教育実習の連絡教員として、毎年度都内を中心に、かなりの数の公立小学校を訪問した経験に照らすと、学校によって整備状況に差が出ていることは否めない。予算配備の問題でいかんともしい難いのかかもしれないが、23区内や他市で導入率が高い区市を分析してみるなどの方略があってもよかろう。例えば導入形態などにおいて、落札業者からの一括購入による機器導入の方式をとるよりも、リース契約方式などで常に最新機種を常備できるような計画策定を期待したい。というのは、従来型の買い取りによる機器導入であると、老朽化と共に旧機器が早晩お荷物になり、新型が旧型にとって代わるスパンが急速に短くなってきているという現況に、全くそぐわなくなっているからである。理想的には、都内公立であれば、どの学校でも最新機器によるICT活用の授業が展開されるような、そんな将来が来ることを期待したい。

第二に、事業内容9「保護者を対象にした講演会の実施」について言及したい。教育講演会が無意味だとは思わないが、公立である以上、様々な事由で講演会に出てこられないような保護者の子どもにこそ、支援を要するケースがあるとは考えられないだろうか。そうであるとすれば、保護者全体への働きかけと同時に、困難な状況を抱える児童への個別のフォローアップも求められてくるのではないか。次年度以降、講演会の実施を見据えつつも、同時に講演会からこぼれ落ちてしまう保護者や児童に対する目配りなどが窺える報告がなされると幸いである。

第三として、敢えて付言させて頂くとすれば、事業内容4「東京学芸大学との連携事業による学習支援の実施」についてが挙げられる。小中学校各1校ずつで、筆者の所属する東京学芸大学と協定を結び、大学教員による授業、教員研修などが、実施されたという。大学が研究機関であり、本務に忙殺されている現状を勘案すると、単純に協定にくみする大学教員を増員すればよいというわけにはいかないだろう。

筆者としては、本学が小金井市を含む近隣の小中学校教諭の方々に実地指導講師としておいで頂きご指導頂く「教職入門」なども、立派な連携の一つとなりうると思料する。というのは、本講義で実地指導に来て頂いた先生方の学校に学校参観に伺わせて頂いたのを機縁に、学校ボラン

ティアに出向かせて頂くようになった学生が散見されるからである。

連携事業の枠組みを、緩やかに再定義していくことで、連携の幅は格段に広がるのではあるまいか。

続いて生涯学習の「点検及び評価表」について言及する。C評価2事業のうち、事業内容55「シニア世代のための地域参加講座」に目が止まった。当初の目標とは異なり、受講者数が目標に到達しなかったことが、C評価に留まった理由の一つと思料される。だが講座内容に謳われる「市の歴史、地域活動や暮らし方などを紹介実施する講座を開催する」という書きぶりからして、やや陳腐ではなかろうか。

子育てというと、実親が子どもの発達支援を中心的に担うことが当然視されてきた。しかし虐待やニグレクトなどの被害を被ってきた当該の子どもの育ちをも保証していくのが、現代だとはいえまいか。私見では、母性父性はもとより、両者を併せた親性ですら、その発現に困難な状況に置かれた大人がいる。そうした親のもとに生まれた子どもには、フォローアップが必要であることは論をまたない。その際、定年退職前後のヤング・オールドたるシニアの人々のお力添えが必要になってくるはずである。したがって、事業内容(事業目標)をより拡大してお考え頂けると、生涯学習の学徒たるヤング・オールド世代が児童をサポートするような、いわば生涯学習と学校教育が架橋されるような事業の可能性も見えてくるのではあるまいか。

このような観点から、第2次プランの二年度目評価が行われる次年度に、さらに期待申し上げたい。

朝岡 幸彦 委員（東京農工大学教授）

昨年度の意見を受けて、自己評価をやや厳しくしたことは評価できる。こうした評価方法の試行錯誤そのものが、市民に対する説明責任に真摯に取り組もうとする姿勢の表れとみられる。点検・評価等会議で個別事業に関する質疑を行ったことを踏まえて、ここでは評価方法について以下の3点を意見として申し述べたい。

自己評価をやや厳しくしたことによって、より課題を意識した評価になっていると思われる。ただし、A-B-C評価が安易に目標数値に比べてどの程度達成されているのかで区分けされているように見えるところもあり、事業実施の課題がより明確化される必要がある。その上でさらに、以下の改善を検討されたい。

- ① 評価の意味が市民にも直感的にわかるように、例えばS評価は事業の拡大・強化、D評価は事業の見直し、C評価が続くとD評価と同じく見直しの対象とする、などの方向性を持った評価になるように工夫して欲しい。
- ② とりわけ学校教育では、そろそろ学校ごとの学校経営評価と教育環境を醸成する教育委員会事業の評価とを区別しても良いと思われる。学校が置かれている状況は一様ではなく、とりわけ困難な状況のもと

で教育を実践せざるをえない学校もあれば、良好な条件のもとで順調に教育を実践している学校もある。教育委員会の事業の中には、こうした個々の学校の状況の総和として結果が出されているものも少なくない。その意味では、学校評価と教育委員会評価とを仕分けして評価することも検討されたい。

- ③ 現在の評価領域は学校教育と生涯学習に区分されているが、さらにソフト事業とハード事業の区分も必要と思われる。施設や設備、機器の整備事業や維持管理業務は教育を支えるハード事業であり、現行の教育行政の枠組みでは独自に対応することのできないものである。こうした条件の違いを踏まえた評価がなされることが望ましい。

参考資料

1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）

（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の実施に関する要綱（平成 21 年 10 月 28 日制定）

（目的）

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 27 条第 1 項の規定に基づき、小金井市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図ることを目的とする。

（実施方法）

第 2 条 点検及び評価は、小金井市教育委員会の基本方針に基づく主要な施策（毎年度策定）を対象とする。

2 点検及び評価は、前年度の施策及び事業の進ちよく状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとし、毎年度 1 回実施する。

3 教育委員会は、前年度の施策及び事業の進ちよく状況等を取りまとめ、次条の点検及び評価に関する有識者の意見を聴取した上で、点検及び評価を行うものとする。

（点検及び評価に関する有識者）

第 3 条 教育委員会は、点検及び評価を行うに当たり、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置く。

2 有識者の定数は、3 人以内とする。

3 有識者は、教育に関して学識を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。

4 有識者の任期は、3 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 有識者に欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(議会報告及び公表)

第4条 教育委員会は、点検及び評価に関する報告書を作成して小金井市議会へ提出するとともに、公表するものとする。

(庶務)

第5条 点検及び評価の実施に関する庶務は、学校教育部庶務課において行う。

付 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成20年10月28日から施行する。

(経過措置)

2 平成20年度に実施する点検及び評価に限り、第2条第1項中「小金井市教育委員会の基本方針に基づく主要な施策（毎年度策定）」とあるのは、「小金井市教育委員会の基本方針に基づく学校教育の指導目標、社会教育の目標」とする。

3 平成28年度教育委員会運営状況

(1) 会 議

定例教育委員会 12回 ・ 臨時教育委員会 1回

(2) 委 員

委員名	任 期	備 考
鮎川 志津子	自 24. 12. 1 至 28. 11. 30	職務代理者 平成27年10月1日 指名
	自 28. 12. 1 至 32. 11. 30	職務代理者 平成28年12月1日 指名
福元 弘和	自 26. 4. 1 至 30. 3. 31	
渡邊 恭秀	自 25. 7. 11 至 29. 7. 10	
岡村 理栄子	自 26. 4. 1 至 30. 3. 31	
山本 修司	自 27. 10. 1 至 30. 9. 30	教育長 平成27年10月1日 任命

(3) 定例会・臨時会の審議事項

会 議 名 年 月 日	審 議 事 項	
第4回 定例会 28. 4. 12	報 告 事 項	1 平成28年第1回小金井市議会定例会について 2 小金井市就学援助費支給に係る認定基準の見直しについて

		<ul style="list-style-type: none"> 3 平成28年度学級編制について 4 寄附の収受について 5 小・中学校教育管理職及び教員の異動について 6 教育課程の届出報告について 7 平成28年度研究奨励校等について 8 その他 9 今後の日程
<p>第5回 定例会 28.5.10</p>	<p>議案第27号 議案第28号 報告事項</p> <p>代処第12号 代処第13号</p>	<p>小金井市文化財保護審議会委員の委嘱について</p> <p>小金井市図書館協議会委員の委嘱について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 小学校オーケストラ鑑賞教室について 2 ウオーキングフェスタ東京について 3 その他 4 今後の日程 <p>職員の分限処分に関する代理処理について</p> <p>職員の分限処分に関する代理処理について</p>
<p>第6回 定例会 28.5.24</p>	<p>報告事項</p> <p>議案第29号 代処第14号</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成28年第3回小金井市議会臨時会について 2 中学校合唱鑑賞教室について 3 その他 4 今後の日程 <p>職員の分限処分について</p> <p>学校教員の服務事故に係る内申の代理処理について</p>
<p>第7回 定例会 28.7.12</p>	<p>議案第30号 報告事項</p> <p>代処第15号 代処第16号 代処第17号</p>	<p>小金井市公民館企画実行委員の委嘱に関し同意を求めることについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 平成28年第2回小金井市議会定例会について 2 不登校児童・生徒支援モデル事業について 3 海の移動教室について 4 小金井チャレンジデー2016について 5 市立小中学校事務の共同実施について 6 その他 7 今後の日程 <p>職員の分限処分に関する代理処理について</p> <p>職員の分限処分に関する代理処理について</p> <p>職員の分限処分に関する代理処理について</p>
<p>第8回 定例会 28.7.26</p>	<p>議案第31号 報告事項</p> <p>議案第32号 議案第33号</p>	<p>平成29年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書採択について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 その他 2 今後の日程 3 市立小学校副校長の体罰に対する処分について <p>職員の人事異動について</p> <p>職員の分限処分について</p>

第 9 回 定例会 28.8.23	議案第 34 号 議案第 35 号 報告事項 議案第 36 号	平成 28 年度小金井市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 小金井市公民館企画実行委員の委嘱について 1 平成 28 年度就学援助制度に係る認定状況について 2 学校事務の共同実施について 3 小学校第 6 学年の林間学校について 4 その他 5 今後の日程 職員の人事上の措置について
第 10 回 定例会 28.10.11	報告事項 代処第 18 号	1 平成 28 年第 3 回小金井市議会定例会について 2 その他 3 今後の日程 職員の分限処分に関する代理処理について
第 11 回 定例会 28.11.8	協議第 2 号 報告事項 代処第 19 号	教育に関する事務に係る予算に対する意見について 1 平成 29 年度新入学児童・生徒について 2 平成 28 年度結核対策委員会の開催結果について 3 小金井市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について 4 その他 5 今後の日程 職員の分限処分に関する代理処理について
第 12 回 定例会 28.11.22	議案第 37 号 報告事項	小金井市教育委員会感謝状贈呈事業について 1 学校給食費の見直しについて 2 平成 28 年度小金井市立小・中学校読書感想文コンクールの表彰結果について 3 特別支援教室の導入について 4 その他 5 今後の日程
第 1 回 臨時会 28.12.1	協議第 3 号	小金井市教育委員会教育長職務代理者の指名について 小金井市教育委員会の議席について
第 1 回 定例会 29.1.10	代処第 1 号 議案第 1 号 議案第 2 号 報告事項	小金井市教育委員会職員タイムレコーダー使用規程の一部を改正する規程の代理処理について 小金井市教育委員会の教育目標、基本方針及び平成 29 年度教育施策について 小金井市文化財保護審議会委員の委嘱について 1 平成 28 年第 4 回小金井市議会定例会について 2 小金井市スポーツ推進計画（案）のパブリックコメント募集について

	代 処 第 2 号	<p>3 その他</p> <p>4 今後の日程</p> <p>5 平成29年1月1日付け小金井市立学校副校長の人事異動について</p> <p>平成29年1月1日付け副校長の任命に係る内申の代理処理について</p>
第 2 回 定 例 会 29.2.14	報 告 事 項 議 案 第 3 号	<p>1 就学援助制度の認定基準の見直しについて</p> <p>2 小金井市立小・中学校連合作品展について</p> <p>3 第8回中学生東京駅伝大会について</p> <p>4 平成28年度小金井教育の日について</p> <p>5 第29回多摩郷土誌フェアについて</p> <p>6 第13回野川駅伝について</p> <p>7 その他</p> <p>8 今後の日程</p> <p>校長・副校長の任命（転任・新任）に係る内申について</p>
第 3 回 定 例 会 29.3.28	代 処 第 3 号 代 処 第 4 号 議 案 第 4 号 議 案 第 5 号 議 案 第 6 号 議 案 第 7 号 報 告 事 項 代 処 第 5 号 議 案 第 8 号	<p>小金井市立東小学校、小金井市立東中学校学校医の解嘱に関する代理処理について</p> <p>小金井市立東小学校、小金井市立東中学校学校医の委嘱に関する代理処理について</p> <p>小金井市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</p> <p>小金井市教育委員会事務局文書取扱規程の一部を改正する規程について</p> <p>学校医、学校歯科医および学校薬剤師の委嘱について</p> <p>小金井市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>1 平成29年第1回小金井市議会定例会について</p> <p>2 平成29年度就学援助制度について</p> <p>3 学校給食費の改定について</p> <p>4 図書館の蔵書点検の結果について</p> <p>5 その他</p> <p>6 今後の日程</p> <p>7 平成29年度小金井市立学校長・副校長等の人事異動について</p> <p>職員の併任に関する代理処理について</p> <p>職員の人事異動について</p>

4 平成28年度 小金井市立小・中学校 学校行事・連合行事等日程表

行事等	一小	二小	三小	四小	東小	前原小	本町小	緑小	南小	一中	二中	東中	緑中	南中
海の移動教室(小5年)	5/30(月)	6/6(月)	5/18(水)	5/23(月)	5/25(水)	5/11(水)	6/1(水)	5/16(月)	6/8(水)					
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓					
林間学校(小6年)	6/1(水)	6/8(水)	5/20(金)	5/25(水)	5/27(金)	5/13(金)	6/3(金)	5/18(水)	6/10(金)					
	7/28(木)	7/30(土)	8/1(月)	7/22(金)	7/24(日)	7/26(火)	8/3(水)	8/5(金)	8/7(日)					
山の移動教室(中2年)	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	9/13(火)	6/21(火)	6/29(水)	9/11(日)	9/15(木)
	7/30(土)	8/1(月)	8/3(水)	7/24(日)	7/26(火)	7/28(木)	8/5(金)	8/7(日)	8/9(火)	↓	↓	↓	↓	↓
修学旅行(中3年)										9/15(木)	6/23(木)	7/1(金)	9/13(火)	9/17(土)
										9/6(火)	9/30(金)	9/21(水)	9/21(水)	9/11(日)
特別支援学級移動教室	梅の実7/7(木)~7/8(金)・さくら10/6(木)~10/7(金)・ひまわり10/20(木)~10/21(金)									G組 5/25(水)~5/27(金)・6組 5/18(水)~20(金)				
	小学校オーケストラ鑑賞教室									4/25(月) (たましんRISURUホール)				
中学校合唱鑑賞教室										5/13(金) (たましんRISURUホール)				
連合音楽会	10/28(金) (小金井 宮地楽器ホール)													
連合作品展	1/20(金)~1/24(火) (小金井 宮地楽器ホール)													
始業式・入学式	始業式・入学式4/6(水)									始業式4/6(水) 入学式4/7(木)				
修了式	修了式3/23(木)									修了式3/24(金)				
卒業式	卒業式3/24(金)									卒業式3/17(金)				
周年行事														11/2(水)
研究発表会								11/11(金)			10/27(木)			
体育的行事	運動会	運動会	運動会	運動会	運動会	運動会	運動会	運動会	運動会	運動会	運動会	運動会	体育会	体育祭
	10/1(土)	5/21(土)	10/1(土)	6/4(土)	6/4(土)	5/28(土)	5/28(土)							
文化的行事	展覧会	展覧会	学習発表会	学習発表会	学芸会	けやき祭	展覧会	みどり展	学習発表会	ふじがね祭	音楽祭	合唱祭	文化発表会	合唱コンクール
	11/18(金)	11/18(金)	11/18(金)	11/18(金)	11/25(金)	11/10(木)	11/18(金)	2/17(金)	11/18(金)	10/24(月)	11/4(金)	10/22(土)	10/12(水)	10/19(水)
	11/19(土)	11/19(土)	11/19(土)	11/19(土)	11/26(土)	11/12(土)	11/19(土)	2/18(土)	11/19(土)				10/13(木)	
								2/19(日)						

小金井市教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

平成29年8月発行

編集・発行 小金井市教育委員会

小金井市教育委員会事務局

小金井市前原町三丁目41番15号

☎ 042-387-9872